

## 教育委員会定例会日程

令和6年(2024年)7月31日

### 1 開 会

### 2 前回議事録の承認

### 3 議事録署名委員の決定

### 4 報告事項

#### (1) 市議会6月定例会の概要について【資料配布のみ】

(資料1 教育部・文化部)

#### (2) 小田原市社会教育委員会議活動報告書について

(資料2 生涯学習課)

### 5 議事

#### 日程第1

報告第3号 事務の臨時代理の報告(社会教育主事の解任について)について  
(生涯学習課)

#### 日程第2

##### 議案第17号

小田原市社会教育委員の委嘱について (生涯学習課)

#### 日程第3

##### 議案第18号

令和7年度使用教科用図書(小中学校特別支援学級用)の採択について  
(教育指導課)

#### 日程第4

##### 議案第19号

令和7年度使用中学校教科用図書(国語・書写・社会(地理的分野・歴史的分野・公民的分野)・地図・数学・理科)の採択について  
(教育指導課)

### 6 閉 会

## 資料1

## 令和6年6月定例会日程

第1日目	6月10日	月	補正予算並びにその他議案一括上程・提案説明 一般質問通告締切 午後5時
第2日目	6月11日	火	(休 会) 議案関連質疑通告締切 正午
第3日目	6月12日	水	(休 会)
第4日目	6月13日	木	質疑、各常任委員会付託、陳情等付託
第5日目	6月14日	金	総務常任委員会
第6日目	6月15日	(土)	(休 会)
第7日目	6月16日	(日)	(休 会)
第8日目	6月17日	月	厚生文教常任委員会
第9日目	6月18日	火	建設経済常任委員会
第10日目	6月19日	水	(休 会)
第11日目	6月20日	木	(休 会) (委員長報告検討日)
第12日目	6月21日	金	各常任委員長審査報告、採決 陳情等審査結果報告、採決 一般質問
第13日目	6月22日	(土)	(休 会)
第14日目	6月23日	(日)	(休 会)
第15日目	6月24日	月	一般質問
第16日目	6月25日	火	一般質問
第17日目	6月26日	水	一般質問
第18日目	6月27日	木	一般質問

## 厚生文教常任委員会（教育部）

令和6年6月17日実施

### 1 議題

#### （1）議案

- ・ 議案第42号 令和6年度小田原市一般会計補正予算（所管事項）  
→ 【結果】 常任委員会「可決すべきもの」 ー 本会議「原案可決」
  
- ・ 議案第49号 小田原市立学校条例の一部を改正する条例  
→ 【結果】 常任委員会「可決すべきもの」 ー 本会議「原案可決」
  
- ・ 議案第56号 工事請負契約の変更について（小田原市学校給食センター整備事業（第Ⅱ期））  
→ 【結果】 常任委員会「可決すべきもの」 ー 本会議「原案可決」

令和6年小田原市議会6月定例会 一般質問（教育部・文化部）

質問順 2 1番 小谷英次郎

- 3 子育て・教育・子育て分野における加藤憲一市長のマニフェストについて
- (1) 子ども議会に代表される主権者教育について
  - (2) 学校給食について

質問順 3 15番 宮原元紀

- 3 小田原市長選挙におけるマニフェストのうち、農業に関する政策について
- (2) マニフェスト「農と食を題材に子どもも大人も学び育つ『エディブル・スクールヤード』の地域への展開」について

質問順 5 21番 北森明日香

- 1 「いのちへの寄り添いと支援」について
- (1) 子育ての経済的負担軽減について
    - ア 学校給食費の段階的無償化について
    - イ 妊婦健康診査費用の助成拡充等について
  - (2) 発達支援について
    - イ 義務教育中の発達支援について

質問順 6 9番 中野正幸

- 1 本市における有形文化財（建造物）の耐震対策について
- (1) 現状と課題について
  - (2) 今後の対応について
- 3 学校図書館への新聞配備について
- (1) 本市における学校図書館への新聞配備の状況について
  - (2) 現時点の課題について
  - (3) 今後の学校図書館への新聞配備の目標について

質問順 8 6番 栗畑寿一郎

- 2 小田原の教育の充実について
- (1) 給食費の無償化について
  - (2) 社会力の育成に向けた教育委員会の支援について
  - (3) 市立小中学校におけるSDGsの取組について
  - (4) 小田原市が目指す「新しい学校づくり」について

質問順 10 24番 大川晋作

- 2 教育の無償化（未来への投資）について
- (1) 給食費の無償化について
  - (2) 教育現場における教材費の無償化について

# 令和6年小田原市議会6月定例会 一般質問（教育部）

質問順 13 14番 井上昌彦

- 3 Manifest2024に記載された各事業の進め方について  
(8) 「博物館構想」の具体化について

質問順 14 5番 池田彩乃

- 1 加藤市長のManifest2024のうち主権者教育について  
(1) 事業内容について  
(2) 今後の取組について  
2 安全・安心な学校給食について  
(1) 加藤市長のManifest2024より「心身が喜び、美味しい給食」について  
(2) 給食費無償化について

質問順 15 8番 鈴木和宏

- 2 加藤市長のマニフェストについて  
(2) 食育と市民農教育について

質問順 16 12番 鈴木敦子

- 3 選挙（統一地方選挙・市長選挙）について  
(2) 主権者教育について

質問順 17 25番 清水隆男

- 2 教育について  
(1) 地域密着型の教育プログラムと小田原版STEAM教育について  
(2) ステップアップ調査について

質問順 20 4番 寺島由美子

- 4 (1) 学校施設の環境改善について

質問順 21 22番 岩田泰明

- 2 町村合併促進法に基づく1954年の足柄下郡豊川村、足柄下郡上府中村、足柄下郡酒匂町、足柄下郡国府津町、足柄下郡下曾我村、足柄下郡片浦村の2町4村の廃止と同町村域の編入から70周年に当たり、各旧町村域の現状と課題、展望並びに記念事業について  
(1) 記念事業について  
ア 小田原市史の電子化と市ホームページ上での公開について  
イ 廃止各町村が刊行した町村史の電子化と公開について

質問順22 23番 杉山三郎

- 3 財源確保策について  
(5) 小田原城・大手門の復元等の周辺整備について

※一般質問(教育部)

議員	項目	答弁	質問要旨	答弁概要
小谷 英次郎 議員	子育て・教育・子育て分野における加藤憲一市長の Manifesto について	市長	子ども議会の具体を伺う。	子ども議会では、児童生徒が市民としての自覚や責任を持ち、課題を自分で見つけて解決していくという学習の段階を経て計画を進めていく必要がある。具体的には、小中学生に税金の用途について議論し、自ら決定することを体験させたいと考えている。今後、子ども議会の実施についての詳細は、教育委員会が中心となり、市長部局関係所管と連携して検討していく。
		教育長	給食の質をどのように上げていくのか伺う。	学校給食は、国の「学校給食摂取基準」を踏まえ、各栄養素をバランス良く摂取でき、過不足がないように献立作成している。学校給食の理想の姿は、安全性を優先し、品質の良い食材を使用し、さらに、彩り豊かで食べやすい味付けに工夫することで、見た目とともに味覚的にも美味しく食べて満足する給食である。来年度から稼働する新学校給食センターでは、旬で新鮮な果物や冷たいサラダなどの提供も可能になるなど理想に近づくと、給食センターの試食会や見学会等の機会を捉えて意見を伺い、献立や調理方法の工夫に生かし、更なる質の向上に努めていく。
		教育長	食材の安全性はどのように担保されているのか伺う。	学校給食が安心して実施されるには、良質で安全な学校給食用食材の確保が不可欠である。学校給食に使用する食材は、食品衛生法等食品関連法により、安全性が確認された食材を使用しており、有害な食品添加物が添加された食品や、内容表示、保存方法等が明らかでない食品については、使用しないこととしている。
		教育長	現在の食育の取組について伺う。	栄養教諭が中核となり、各学校への訪問、教材資料の提供、実践の紹介を行う等の個別支援をしており、各学校では各教科等や給食指導、委員会活動等を通して食育を行っている。また、学校農園で育てた野菜を収穫する喜びを味わったり、収穫した食材を生かした学校給食を提供したりするなど、各学校の特色を生かした食育を実践している。
宮原 元紀 議員	小田原市長選挙における Manifesto のうち、農業に関する政策について	市長	エディブル・スクールヤードとはどのような取組か伺う。	一般に、「エディブル・スクールヤード」とは、食物をともに育て、調理し、食べるという体験を通して、子供たちがいのちのつながりを学び、人間としての成長を促す教育を実践する取組をいう。本市が目指す「エディブル・スクールヤード」は、子供たちを含むすべての市民への農教育に軸足を置き、地域住民や保護者が担い手となりつつ、農と食を題材に、これらの人々と子供たちが交流し、ともに学び合える場となることを想定している。
		市長	地域への展開とあるが、小田原ではどのような展開を考えているのか伺う。	「農と食」を題材とした取組として、既に学校農園に力を入れている学校もあり、まずは、こうした条件が整った小学校区を皮切りに、地域の人たちや保護者世代の参画を広く求めていく取組を重ね、順次、各小学校区の地域性等の条件に応じた展開を図っていくことを想定している。
北森 明日香 議員	「いのちへの寄り添いと支援」について	市長	段階的無償化の段階的とは何か。また今後の展望について伺う。	給食費無償化は、多くの市民が期待している施策であると認識しており、子育て世帯の負担軽減のため、早急に取り組むべき施策であると考えている。しかし、学校給食費を完全に無償化するには毎年多額の財源が必要になるため、市の財政状況や施策の優先順位、国による支援措置等を考慮しながら、無償化の範囲を段階的に拡充していくことが適当であると考えている。今後、できるだけ早期に給食費の無償化が実現できるよう、しっかり取り組んでいく。
		市長	無償化になっても中身の拡充を図っていくのか伺う。	学校給食は、国の「学校給食摂取基準」において1日に必要な栄養素等の約3分の1をとることが定められており、この基準に基づき各栄養素を過不足なく摂取できるように、各学校の実態に応じて各校の栄養士が献立を作成している。給食費を無償化しても、国の基準に基づく安心安全で栄養バランスの良い給食を提供するとともに、引き続き給食の質の向上を図っていく。
		教育長	特別支援学級の状況把握を教育委員会は、どのように行っているのか伺う。	教育委員会では、「特別支援学級訪問」として、教育委員会指導主事と特別支援教育相談員が、年1回市内すべての小中学校を訪問している。訪問の際には、1日の児童生徒の様子や特別支援学級における支援方法の観察、担当教員との情報共有などを通して、状況把握をしている。その他にも、保護者や学校からの相談に応じて、学校を訪問するなど、適宜状況を把握している。
		教育長	特別支援学級への専門的な支援について、教育委員会はどのような取組を行っているのか令和5年度の状況を伺う。	教育委員会では、「支援教育相談支援チーム」を設置し、専門家との連携を図り、各学校での支援の充実を図っている。令和5年度は、学校の要望に応じて、国際医療福祉大学から、作業療法士が13回、理学療法士が7回、市内小中学校を訪問した。平塚ろう学校は、聴覚障害児の支援について市内小中学校を7回訪問し、小田原支援学校は、医療的ケア児への支援等について、継続的に学校などに助言した。この他にも、児童生徒のニーズに合った支援ができるよう、各種専門家と必要に応じて連携している。
		教育長	特別支援学級に在籍している児童生徒の進路について、児童生徒や保護者が様々な選択肢を知り、見通しをもてるようにするために、どのような取組をしているのか伺う。	学校は、一人ひとりの希望や状況などに応じ、教育相談や資料の配布・掲示などを通じて、進路に関する様々な選択肢について情報提供している。教育委員会は、学校が丁寧な進路指導を実施し、児童生徒や保護者が見通しをもって進路選択できるように、県教育委員会と連携し、学校への情報提供に努めている。

議員	項目	答弁	質問要旨	答弁概要
中野正幸議員	学校図書館への新聞配備について	教育長	本市では、新聞を教材としてどのように位置付けているのか伺う。	新聞を含む様々な教材・教具を適切に活用していくことは、学習指導要領でも重要であると示されており、児童生徒の情報活用能力の育成の観点から大切なことであると認識している。 本市の教育活動においても、新聞を含む様々な教材・教具を活用し、児童生徒の資質・能力の育成に努めているところである。 特に新聞は、紙面から伝え方の工夫を見つける学習や報道文を比較して読む学習など、様々な用途で活用されている。
		教育長	本市の学校図書館への新聞配備状況について伺う。	本市では、小学校25校中14校、中学校11校中10校で学校図書館に新聞を配備している。 新聞配備校における平均は、小学校で1.7紙、中学校で3.3紙となっている。
		教育長	本市のこれまでの取組と現場での課題をどのように捉えているのか伺う。	本市では、これまで学校の実情や児童生徒の発達段階等に応じて、学校ごとに学校図書館への新聞の配備に取り組んできた。 国が掲げる目標に対して、中学校では、概ね目標に達しているが、小学校では新聞配備が十分ではない状況である。 その理由としては、学校図書館の整備においては図書の整備・充実が優先されていることや、国の整備計画の周知不足が挙げられる。
		教育長	今後の学校図書館への新聞配備について、どのような目標をもって進めていくのか伺う。	国の「学校図書館図書整備等5か年計画」における小学校2紙、中学校3紙の配備を本市としても目標とし、国の計画及び複数紙配備の有用性を学校に周知することにより、学校図書館への新聞の配備を進めていきたいと考えている。
栗畑寿一朗議員	小田原の教育の充実について	教育長	地場産有機農産物とは具体的にどのような食材があり、どのようなメリットがあるのか伺う。	有機農業で栽培される有機農産物には、本市では有機栽培米やキウイフルーツ、レモンがあるが、生産量が少なく供給が不安定なほか、一般物資と比較し価格の高い物が多い。 一方、有機農産物を学校給食に使用するメリットとしては、安心しておいしく食べられる安全な給食の提供につながることや、食を通して自然環境などについて考えるきっかけにもなることが挙げられる。 こうしたことから、有機農産物の試験導入に向けて、生産者や関係機関と調整を進めているところである。
		市長	給食費の段階的無償化の段階的の意味について伺う。	給食費無償化は、多くの市民が期待している施策であると認識しており、子育て世帯の負担軽減のため、早急に取り組むべき施策であると考えている。 しかし、学校給食費を完全に無償化するには毎年多額の財源が必要になるため、市の財政状況や施策の優先順位、国による支援措置等を考慮しながら、無償化の範囲を段階的に拡充していくことが適当であると考えている。
		教育長	個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実について、市内小中学校に対してどのような支援や指導をしているのか伺う。	教育委員会では、従来から行っている各学校の校内研究への指導・助言に加え、現在、教育研究所の共同研究として、各校の教育実践への支援を推進するため、ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びについての研究を進めている。 また、ステップアップ調査の活用についての指導・助言を行い、児童生徒の実態をもとに個別最適な学びの充実を支援している。 さらに、デジタルドリル教材・学習支援ソフトなどの環境を整え、一人ひとりが学習内容を選択したり、互いの考えを画面上で共有したりしながら学習を進めることができるよう支援している。
		教育長	児童生徒の発達段階や学校ごとの実態が異なる中で、子どもたちの学びを充実させるため市立小中学校に対してどのような支援や指導をしているのか伺う。	各学校では、授業をはじめとする教育活動をどのように行っていくかについて研究するため校内研究を行っている。 教育委員会ではその研究会に職員を派遣し、児童生徒の実態や学年のつながりを意識した授業展開の工夫や、考えられる支援方法について指導・助言を行っている。 また、校内研究に大学教授等の講師を依頼するための謝礼や消耗品購入などについて、校内研究が充実するよう支援している。
		教育長	『令和の日本型学校教育』を担う質の高い教師の確保のための環境整備に関する総合的な方策についての中央教育審議会「審議のまとめ」の考えを受け、市での取組や課題について伺う。	審議のまとめの中では、様々な指摘がなされているが、中でも、平成31年に示された「学校における働き方改革答申」における学校・教師が担う業務の適正化の一層の推進に、市として更にはっきり取り組む必要があると、改めて認識した。 本市では、これまで個別支援員、部活動地域指導者等の人材を配置し、学校・教師の負担軽減を図ってきたが、適切な人員の確保やそのための財源の確保が課題となっている。
		教育長	市立小中学校ではSDGsに関してどのように扱っており、どのような成果と課題が見られるのか伺う。	各校では総合的な学習の時間や社会科、道徳など教育課程の様々な場面でSDGsについて学ぶとともに、実態に応じてSDGsの目標に向けて自分にできることを考えて行動する取組を行っている。 SDGsへの取組の成果としては、児童生徒に社会や地域を自らより良くしようという態度が育まれていることが挙げられる。 一方で、児童生徒が主体となって取り組む活動は、試行錯誤しながら問題を解決していく探究的な学びとなるため、教育課程の中でどのように活動の計画を立て、時間を確保していくかが課題と言える。
		教育長	市長が代わったが、今後、新しい学校づくり推進事業はどのように進めていくのか伺う。	現在、「新しい学校づくり推進基本方針」で整理した検討事項に基づき、基本計画と整備指針の検討を進めており、その策定後は「学校施設中長期整備計画」を見直し、具体の整備に着手する。 以上のような、これまで想定してきた、「新しい学校づくり推進事業」全体の進め方については、市長が代わっても変更はない。 また、基本計画の策定に向けた地域との話し合いには一定の時間を要すると認識しているが、学校施設の老朽化は大きな課題であることから、地域との合意形成を丁寧かつ着実に進めた上で、できるだけ早期に整備に着手できるように努める。

議員	項目	答弁	質問要旨	答弁概要
大川 晋作 議員	教育の無償化 (未来への投資)について	市長	段階的無償化の段階的の意味について伺う。	給食費無償化は、多くの市民が期待している施策であると認識しており、子育て世帯の負担軽減のため、早急に取り組むべき施策であると考えている。しかし、学校給食費を完全に無償化するには毎年多額の財源が必要になるため、市の財政状況や施策の優先順位、国による支援措置等を考慮しながら、無償化の範囲を段階的に拡充していくことが適当であると考え、段階的無償化という言葉を用いた。
		教育長	教育委員会は各校の教材費と教材の内容の現状を把握しているのか伺う。	学校が、教材として副読本やドリルを使用する場合には、教育委員会に届出をすることになっている。また、その他の教材についても、毎年、その使用実績について調査を行っており、教育委員会として学校で使用している教材の金額や内容を把握している。
		教育長	各校の教材費と教材の内容について、教育委員会としてどのように評価しているのか、また、それに基づいて学校を指導しているのか伺う。	小田原市立小学校及び中学校の管理運営に関する規則の規定に基づき、各校では適切と認められた教材を選定し、選定に当たっては児童生徒の経済的負担について考慮していると捉えている。各校の教材選定には特に問題はないと認識しているが、市の平均や前年度実績を大きく上回る場合や、公平性を欠く業者選定が見られた場合には、学校に確認し、必要に応じて指導している。
池田 彩乃 議員	加藤市長のManifest2024のうち主権者教育について	市長	主権者教育の事業内容について伺う。	課題が山積するこれからの時代を担う子供たちにとって、地域の課題を捉えてしっかりと向き合い、意見を述べ、行動に移していく力が必要である。主権者教育では、そのような力を育成するために、小中学生に税金の使途について議論し、自ら決定することを体験させたいと考えている。自分たちで見出した課題を、税金を用いて実際に解決に導く体験は、主権者としての自覚を育むために、大変有意義なものであると考えている。
		市長	主権者教育の今後の方向性について伺う。	子供たちが地域の課題について議論し、自ら決定する体験を通して、主権者としての自覚を育んでいけるよう進めていく。そのために、小学生議会と中学生議会を創設し、子供たち自らが税金の使い道等、市全体の課題について考え、議論する取組を考えている。
		市長	心身が喜び、美味しい給食とは具体的にどのような給食なのか伺う。	学校給食は教育の一環であり、徹底した衛生管理のもと児童生徒の心身の健全な発達のため、栄養バランスのとれた食事を提供し、健康の増進を図るだけでなく、人間関係の育成、地域の食文化の継承など、生きた教材として高い教育効果が期待できる。そうした効果を最大化できるよう、給食提供の現場では日々献立作りを工夫・改善し、努力を重ねているが、その取組の一つ一つを進化させて作る、見た目からおいしい給食、食べて美味しい給食、そして、食べると心も体も満足できる給食が、心身が喜び、美味しい給食である。
市長	国も無償化に向けて動いている中で、独自に開始しようとしている理由について伺う。	国においては、6月12日に「子ども未来戦略方針」を踏まえた学校給食に関する実態調査の結果について公表したが、国としての学校給食費の無償化への考え方は、未だに不透明な状態である。子育て世帯の負担軽減のため、子育て世代への支援は最優先に取り組むべき施策と考えており、市民の関心が高い給食費無償化については、国の方針を待たずに優先的に取り組むべきと判断した。		
鈴木 和宏 議員	加藤市長のManifest2024について	市長	エディブル・スクールヤードの展開における地域の市民力とは具体的に何を指すのか。	地域では、その土地をよく知る農業従事者をはじめ、食や農に関心の高い方、子供たちの活動を支える保護者などの豊富な人材があり、食育活動や農業体験の機会が展開されてきている。また、4年前の市長退任後、自ら携わったワイン葡萄栽培のプロジェクトにおいて、自然と向き合い荒地を開拓する市民力の可能性を改めて感じたところである。こうした市民力を十分に生かしつなぎ合わせることで、地域の市民力が形作られると考えている。
		市長	各小学校区に1か所設置とあるが、学校農園とは異なるものなのか。	エディブル・スクールヤードは、市内各地に存在する遊休農地を市民の手で開拓・整備し多面的に活用するものである。その開拓地は、地域の力を借りて運営し、子供たちが食について学べるフィールドとなる。学校農園は、専ら学校の教育活動のために作られたという点で異なるが、既存の規模の大きな学校農園は、地域の市民力との協働によってエディブル・スクールヤードのモデルケースとすることができると考えている。
		市長	運営費に対する財政支援とあるが、どのような費用が発生するのか。	エディブル・スクールヤードを整備し、運営していくには、土地の賃借料、開拓にかかる機械や道具、育てる植物の種苗、植物の成長に必要な肥料、機械のための燃料、水道料などが必要になると想定している。因た、エディブル・スクールヤードを学校教育の中で活用するために、児童が移動するための費用が必要になる場合もあると考えている。

議員	項目	答弁	質問要旨	答弁概要
鈴木 敦子 議員	選挙（統一地方 選挙・市長選 挙）について	市長	マニフェストにある「主権者教育の充実・強化」について、具体的にどのように考えているのか市長の見解を伺う。	課題が山積するこれからの時代を担う子供たちが、社会の状況にしっかりと向き合い、意見を述べ、行動していく力を養うためには、主権者教育の充実・強化が必要である。 そのために、市関係部局が教材を作成したり、出前授業をしたりすることにより、児童生徒の政治や地域課題への意識付けと参画を促進することが大切であると考えている。 また、「小学生議会」「中学生議会」を開催し、税金の使途について子供たちが議論できる場を設けることも有効な手段であると捉えており、実現に向けて教育委員会との連携を図っていく。
		教育長	主権者教育の充実には市議会と教育委員会の連携が重要と考えるが、所感を伺う。	現在行っている議場見学会は、実際の議場の見学や、児童生徒の質問に対して議員の皆様にご意見を伺うなど、子どもたちにとって学校だけではできない実感を持った学びの場となっている。 教育委員会としても、主権者教育の充実を図り、子どもたちにとってよりよい学びとしていくためには、様々な取組において市議会と連携することが有効であり、今後もご協力をお願いしたいと考えている。
		教育長	議場見学会で主権者教育に関する冊子を配る等の工夫ができないか伺う。	議場見学会は児童にとって貴重な機会であり、見学の前には、各学校で政治や議会の仕組みについての事前学習を行っている。 また、見学時には、選挙管理委員会が作成した選挙に関する資料を児童一人ひとりに配付している。 今後も市議会にご協力いただき、説明や配付資料の改善を図りながら、議場見学が児童にとってよりよい学びとなるようにしていく。
清水 隆男 議員	教育について	市長	市が進める小田原版STEAM教育について、市長としての評価について伺う。	小田原版STEAM教育は、郷土小田原をフィールドとして、生徒が地域の課題に出会い、その解決のために教科で学んだことを統合的に働かせながら探究的、創造的な活動を行うことで、よりよい社会を実現しようとする資質や能力を育てる教育である。 小田原版STEAM教育と私が進めたいと考えている地域社会密着型の教育プログラムは、地域社会の課題を実践的に解決していくという点で方向性が一致しているものと捉えている。
		市長	地域密着型の教育プログラムと小田原版STEAM教育との整合・連携とはどのようなことを考えているか、見解を伺う。	地域密着型の教育プログラムは、小田原市にある豊かな自然、歴史、文化に触れることで、地域で生きる人から直接学び、課題を解決する力を身につけることを目標としている。 小田原版STEAM教育は、地域の課題を独自の探究プロセスを用いて、地域の人たちと連携しながら解決していく学びである。 両者はともに、地域の様々な人と連携しながら推進していく学びであり、連携を図りながら推進できると考えている。
		市長	ステップアップ調査についての市長としての評価を伺う。	これからの予測困難な社会を生きていくためには、様々な課題を乗り越える力を身につけることが大切であり、そのためには、周りとの比較ではなく個の特徴に応じた学びが必要になる。 ステップアップ調査は、児童生徒一人ひとりが自分の成長を実感できる点やエビデンスに基づいた学級経営・授業改善が可能となる点、自己肯定感や学びに向かう力などの非認知能力をみとれる点で、子供たちの健やかな育ちにつながるものと捉えている。
		教育長	国の全国学力・学習状況調査と実施時期が近いことによる児童生徒への影響とその改善策について伺う。	ステップアップ調査と全国学力・学習状況調査の実施時期が近いことによる児童生徒への影響と改善策について質問があった。 ステップアップ調査は、前年度の学力の伸びを把握し、当該年度中に調査結果を生かすために、年度の早い段階で実施する必要があるが、毎年4月中旬に実施される全国学力・学習状況調査と実施時期が近くなる。 児童生徒に一定の影響があるという声があることは認識しているが、両調査の実施日が1か月程度開くように調査期間に幅をもたせ、学校ごとに選択できるようにするなどの対策を講じている。

議員	項目	答弁	質問要旨	答弁概要
寺島 由美子 議員	学校施設の環境改善について	教育長	木質化による学校施設の環境改善、長寿命化について伺う。	学校施設の木質化は、柔らかく温かみのある感触による子供たちへの心理的効果、調湿作用による快適な学習環境の形成等の効果が期待でき、これまで実施した各校において好評であった。 現在策定中の「新しい学校づくり施設整備指針」の中でも、木材を活用した学校づくりを取り入れられるように、整備の方向性等について検討しているところである。 今後、新しい学校づくりによる学校施設の長寿命化や建替えが本格化するまでの間も、既存施設の環境改善のために、引き続き内装木質化にも取り組んでいく。
		教育長	学校施設の地域利用を推進するにあたり、セキュリティの確保にどのように取り組んでいくのか伺う。	現在も、学校施設の地域利用は行われているが、セキュリティの確保は大きな課題となっている。 対策として、学校が使用する施設と地域が利用する施設のゾーニングやセキュリティラインを明確にすることや、施設の予約や開け閉めに電子システムを導入すること等が有効と考えている。 セキュリティ確保策については、現在、「新しい学校づくり施設整備指針」の中で検討を進めており、今後、既存の学校施設についても、整備指針で定めた方針に基づき必要な整備を進めていく。
		教育長	避難所として使用される体育館について、暑さや寒さ対策が必要と考えるが、見解を伺う。	体育館を含めた学校施設の整備は、児童生徒の安全・安心を最優先に、優先順位をつけて実施している。 現在策定中の「新しい学校づくり施設整備指針」において、避難所機能の充実という観点も含め、体育館への空調設備の設置や断熱性能等について検討している。 既存の体育館への空調設備の設置や断熱改修については、多額の費用を要するため難しいが、新しい学校づくりに基づく学校施設の整備が早期に実現できるよう取り組んでいく。

※一般質問（文化部）

議員	項目	答弁	質問要旨	答弁概要
中野 正幸 議員	本市における有形文化財（建造物）の現状と課題について	市長	指定文化財の件数を伺う。	現在、国、県、市から指定を受けている文化財は149件ある。 その内、有形文化財の建造物は県指定で5件、市指定で11件あるが、耐震対策を考慮する必要がある、いわゆる建物に限ると、県指定で3件、市指定で3件の合計6件である。 また、国登録有形文化財の建物は市内に29件ある。
		市長	対象の建造物に対する耐震対策の現状と課題について伺う。	建造物の内、対象となる6件の建物は、現在の基準に沿った耐震対策がなされていない。 一般に、建築当時の姿を今に伝えることに文化財的価値があり、建物の構造補強は、その価値を毀損しない範囲でなければならない等の技術的な課題がある。 また、所有者等が永年受け継いできた建物に手が加わることへの心情への配慮と、補助制度を活用しても多額の自己負担が生ずることも課題である。
	市長	耐震診断の見直しの必要性和文化財保護の観点からの今後の対策について伺う。	本市は、文化財保護法や指針等に基づき文化財行政を行っていることから、今後も国の見直しの動きを注視し対応してまいりたい。 また、文化財の所有者等に対して毎年アンケートを実施するなど文化財の現状把握にも努めており、今後は、そうした場を通じて耐震対策についての情報共有を進め、所有者等の理解が得られるよう取り組んでまいりたい。	
井上 昌彦 議員	「博物館構想」の具体化について	市長	「博物館構想」の具体化とは何を指すのか伺う。	平成29年1月に策定した「小田原市博物館基本構想」は、策定から7年が経過し、この間、約70年ぶりに大きな博物館法の改正があり、博物館の果たすべき役割が見直された。 新たに資料のデジタル化が博物館の主たる業務の一つとして位置づけられ、本市でも資料のデジタル化を進めているところである。 その作業の中で、収蔵品に関する多くの新たな知見が得られるなど、構想の前提条件に大きな変化があった。 これらの動きを受けて、まずは現行の構想を、現状に合わせた内容に見直すとともに、あわせてソフト面の充実や既存施設の活用を図っていきたい。

議員	項目	答弁	質問要旨	答弁概要
岩田 泰明 議員	町村合併促進法に基づく1954年の足柄下郡豊川村、足柄下郡上府中村、足柄下郡酒匂町、足柄下郡国府津町、足柄下郡下曾我村、足柄下郡片浦村の2町4村の廃止と同町村域の編入から70周年に当たり、各旧町村域の現状と課題、展望並びに記念事業について	市長	小田原市史の電子化と市ホームページ上での公開について伺う。	小田原市史は、平成15年度までに全15冊を刊行し、現在も販売を行っているが、人気の巻は品切れとなっている。 小田原市史全巻を電子化し、市ホームページで公開するためには、著作権や所有権等、権利関係の整理が必要であり、解決には一定の時間を要するため、早期の実施は困難であると考えている。 なお、市職員により執筆された最終巻の「小田原市史 別編・年表」は、デジタル処理を施し、デジタルミュージアムにおいて公開されている。
		市長	廃止各町村が刊行した町村史の電子化と公開について伺う。	旧町村に関わる町村史については、当時の町村の姿をうかがい知る貴重な資料として、中央図書館の地域資料コーナーで保管し、閲覧に供している。 地域資料コーナーに保管する資料の中には、経年劣化が進み修復を要する資料が多数存在することから、保存と公開を両立させるため、現在資料の電子化を進めているところである。 町村史については、現在進めている作業との兼ね合いを図りながら、適宜対応してまいりたい。
杉山 三郎 議員	小田原城・大手門の復元等の周辺整備について	市長	観光資源としての大手門の復元について伺う。	大手門は、市民会館跡地の南側に位置し、現在の鐘撞堂はかつての大手門北側の櫓台と考えられ、国指定史跡となっている。 大手門は、近世小田原城の正面玄関にあたり、極めて重要な場所であると考えている。 一方で、大手門の復元については、外観の分かる写真や構造がわかる資料が不足していることや、新たな用地取得や道路の付け替えなどの課題があると認識している。 大手門の復元事業は新たな観光資源の創出に繋がる、との認識はもっており、引き続き、復元等の整備に向けた調査・研究を進めていきたい。
		市長	小田原城天守閣の木造化について伺う。	令和4年度に、木造化を含めた天守閣の建替え等を検討する場として、小田原城天守等復元的整備検討会議を立ち上げている。 今回の私のマニフェストでも「天守閣木造化の可能性について検討を継続」と掲げさせていただいた。 現在、天守閣を建て替える際の課題を整理しており、今後とも木造化を含め、将来的な天守閣の建替え等に備えるための調査・研究を進めていきたい。
		市長	近世小田原城三の丸東堀の復元について伺う。	当該地は、近世小田原城三の丸大手門土橋と三の丸東堀が展開していたところである。 平成30年9月に策定した「三の丸地区の整備構想」においては、長期計画の中で、三の丸東堀の復元について検討を進めることとしている。 大手門土橋と三の丸東堀については、大手門と併せて復元すべきと考えており、解決すべき課題も多いことから、長期的な展望で取り組んでいきたいと考えている。

新しい生活様式を踏まえた社会教育・生涯学習  
のあり方とその可能性について

— 活動報告書 —

令和6年6月

小田原市社会教育委員会議

## 目次

はじめに .....	1
新たな学びの視点 .....	3
1 多様性を認め合う学び .....	3
2 生涯健康であるための学び .....	5
3 自分らしく自立するための学び .....	12
4 命を守る学び .....	15
5 みんなで子どもを育む学び .....	18
新しい生活様式を踏まえた考察ポイント .....	24
資料 .....	27

## はじめに

### (テーマのねらい)

本市社会教育委員会議では、平成24年8月から平成26年7月までの任期において、教育委員会から諮問を受けた「小田原市の社会教育・生涯学習のあり方について」というテーマのもと、検討を重ね、平成26年3月に本市の社会教育・生涯学習の目指すべき方向性を示す答申をまとめている。

一方、令和5年度からスタートした「第2期小田原市教育大綱」及び「第4期小田原市教育振興基本計画」においては、これまでの学校教育中心の計画から、人生100年時代を見据えた「生涯の学び」という新たな視点を加えた幅広い計画となり、社会教育・生涯学習の対象も拡大して捉えていることから、既に8年を経過した社会教育委員会議の答申では触れられていなかった内容等も多く含まれている。

今期(令和4年8月から令和6年7月まで)の社会教育委員会議では、この教育振興基本計画の中で、平成26年の答申で触れられていなかった内容を、社会教育・生涯学習における「新たな学びの視点」として捉え直し、コロナ禍を経た新しい生活様式を前提としながら、より良い学びの実践につながるようなアイデア、意見等を協議することで、新たな教育振興基本計画の一層の推進を図ると共に、社会教育・生涯学習の可能性を探ることとした。

### 「第4期小田原市教育振興基本計画」～

社会教育委員会議において検討する

### 新たな学びの視点

#### 施策の展開

##### 1 社会教育

- (1) 生涯学習の振興
- (2) 文化・芸術の振興
- (3) 多様性の理解と共生社会の実現
- (4) スポーツの振興
- (5) 食育の充実
- (6) 健康の保持増進
- (7) キャリア教育の充実
- (8) 関わり合い、共に学ぶ場の充実
- (9) 防災・災害対策の充実

##### 1 多様性を認め合う学び

##### 2 生涯健康であるための学び

##### 3 自分らしく自立するための学び

##### 4 命を守る学び

##### 5 みんなで子どもを育む学び

##### 2 家庭教育支援

- (1) おだわらっ子の約束の普及と実践
- (2) 家庭教育への支援
- (3) 家庭学習への支援
- (4) 子育て支援の充実

### (協議の進め方)

会議開催の都度、各個別テーマ（学びの視点）に基づき、次のとおり協議を進めた。

- 1 基本計画に示されている各施策の「主な取組」の実施状況等について、各担当課からの情報提供を受け、事務局でまとめた資料を各委員へ事前送付。
- 2 社会教育委員会議の協議において、各委員には、それぞれの立場から、各施策のより良い実践のためのヒントやアイデア、経験を踏まえた事例、若しくは、それぞれの学びについての意見等、資料の内容にとらわれない自由な発言を求めた。

なお、今回の協議・考察にあたっては、コロナ禍を経た新しい生活様式を踏まえ、次のようなポイントも意識することとした。

#### 〈考察ポイント〉

- ① 新しい生活様式のメリット（ICT等デジタル技術の普及）を活用して何ができるのか
- ② 逆にそのデメリットであるデジタル・デバインド（情報格差）の解消や、対面コミュニケーション不足等をどう補うのか
- ③ 学校・地域・家庭等が連携して課題解決する“つながる学び”を実現するにはどうしたらよいか
- ④ 誰一人として取り残すことがない社会を実現するためには、どのような工夫が必要か

### (協議のまとめ)

前任期の社会教育委員会議では、「地区公民館」という一つのテーマに限定した協議を重ねて「研究報告書」としてまとめている。

今期の協議は、新しい教育振興基本計画の推進の一助とすることも兼ねて、会議の都度、並列する個別テーマ毎の協議を繰り返し、委員にも自由な発言を求めたため、結果として多様な意見等が寄せられた。そこで、今期は、社会教育委員会議としての見解や方向性を示すようなまとめは敢えて行わず、多様な意見が出された協議結果をシンプルに伝える「活動報告書」とした。

### 検討する新たな学びの視点と今回の考察ポイント

社会力の育成

多様性を認め合う学び

生涯健康であるための学び

自分らしく自立するための学び

命を守る学び

みんなで子どもを育む学び

×

#### 新しい生活様式を踏まえた考察ポイント

- ・ICT等デジタル技術の活用
- ・デジタル・デバインド、対面コミュニケーション不足の対策
- ・学校・地域・家庭等が連携する“つながる学び”
- ・誰一人として取り残さない工夫

## 新たな学びの視点

### 1 多様性を認め合う学び

(教育振興基本計画における位置付)

VII 施策の展開 — 1 社会教育 — (3) 多様性の理解と共生社会の実現

#### ① 市民への人権教育の推進

小田原市人権施策推進指針及びおだわら男女共同参画プランに基づき、市民一人ひとりが人権について正しい理解と行動がとれるよう、関係機関や民間団体等と連携し、様々な課題に応じた啓発活動の推進に取り組みます。

(主な取組)

- 人権を考える講演会や人権メッセージパネル展の開催
- 男女共同参画セミナーの開催

#### 【協議内容】

##### 〔現況・課題等〕

- 多文化共生や多様性を認め合うというテーマとなると、男女の共生、外国籍の人たちとの共生、障がいを持っている人たちとの共生等、**様々な事柄、側面がある。**
- 基本計画の見直しの議論の中でも、障がいを持っている子、学校にいけない子、外国につながる子たちの居場所、学びの場等、**子どもたちの多様性の場を大人たちがどう守っていくのかが大きな課題だった。**
- コロナ禍の影響もあり、(自分以外の) 人との距離感の取り方が難しくなっている。そのような状況の中、**お互いを認め合う共感力、人間関係の構築力が社会教育において重要な課題となっている。**
- 「**違って当たり前、多様であることが当たり前**」を、どのようにすればお互いに**気持ちよく共感し合えるのか、その訓練のようなものが必要な時代**に入ってきている。
- 小学生の様子を見ていると、地域内の支援学校との交流ほか、小さい時から学んでいるので、特別支援級の子にも、外国につながりがある子に対しても、**子どもたちの間では自然で「垣根」がない。**
- 大学院生の話し合いの中で、**多様であることを「面白い」と捉え、認め合う環境を醸成していくのが重要だ**という話があった。逆に言うと、違いを「面白い」と思わないから、「画一」を良しとして、そこからはみ出す人を「変な人」としてしまうのかもしれない。

##### 〔意見・アイデア等〕

- 「多様性を認め合う学び」では、理屈で「平等」や「尊重」が大切と言っても、なかなか身につかない部分もあるが、相手が「こういう存在なのだから」ということを**認識する、事実を知る。**そこから生まれる「共感」が**とても大事である。**

- 障がいがある人とそうでない人との交流、外国の人との交流、あるいは、男性と女性等、そういう**交流型の事業が大事**だと思う。交流を通して「この人たちは今までこうだと思っていたけど、実はこういう存在なんだ」という相手を理解しようとする認識が生まれてくる。お互いに知り合える**交流・コミュニケーションの場を作る**のは、とても大事だと思う。
- 人権のこと等、まず「知ることが一番」というのは確かである。何事も、**知らなければ始まらない**。その意味でも、講演会も大事だが、同時に、**交流型で実際に体験することで分かることは多い**と思う。
- 交流型、体験型の場合、大人数ではできないので、例えば、**講演会の後に少人数に分かれてやる**とか、大規模な研修会ではなく**小規模な研修会をあちこちで行う**方法などもあるかと思う。
- 韓国の人が多く暮らす新宿区新大久保の事例で、韓国料理の講座があった。日本人が韓国の人から教わって、キムチチゲ、ビビンバ等、美味しいものを作ることが出来て「すごい！」と、みんな素直に尊敬し合って交流が生まれる。**ちょっと工夫すれば、面白い講座が展開できる**と思う。
- 韓国料理の講座の事例など、それぞれの自治会でも、公民館を活用して**何でも学ぶ**ことも、ひいては多様性の理解につながっていくのではないかと思う。

## 2 生涯健康であるための学び

(教育振興基本計画における位置付)

VII 施策の展開 — 1 社会教育 — (5) 食育の充実

### ① 栄養バランスのとれた食生活の実践

食べることは健康に生きることに繋がります。栄養バランスのとれた食事を適量摂ることは、健康な生活を維持するために不可欠です。栄養バランスの取れた望ましい食生活の大切さを普及啓発することで、市民が健康に生きることを支援します。

(主な取組)

- 健康教育・栄養教育の実施
- 食に関する学習の場の提供
- 発達段階に応じた食育活動の充実

(教育振興基本計画における位置付)

VII 施策の展開 — 1 社会教育 — (6) 健康の保持増進

### ① 生涯を通じた健康づくりの推進

市民一人ひとりが自らの健康に対する意識を向上させ、心身ともに健康な生活を送るため、正しい健康知識の普及啓発等を行い、生活習慣の行動変容を図り、自立した生活を送ることができるよう健康寿命の延伸を図ります。

(主な取組)

- 健康増進計画、データヘルス計画の推進
- 健康寿命延伸プロジェクト事業の実施
- 地区活動の充実

## 【協議内容】

### 〔現況・課題等〕

- 食と健康という観点では、小田原は**塩分摂取**のことをもう少し気にしないといけないと思う。県内でも一、二を争うぐらいに、**小田原では脳血管疾患死亡率が高い**現状がある。
- 朝ご飯を食べて来ない、夜遅い時間に食事をする、おやつを食べて夕飯を食べない…等、食生活・食習慣のことは、生涯学習でも問題になってくる。朝ご飯を食べて来ない子をどうするのか等、改善方法を講じていくのが大事であり、**学校、家庭、地域が連携**しないとうまくいかないと思う。
- 学校給食でも「**地産地消の給食**」ということで、小田原産の玉ねぎやかまぼこを使っている。やはり子どもたちにとっては楽しみであり、うれしい献立なのではないかと思う。
- コロナ禍では、PTA 主催の「学校給食試食会」が3年間も実施出来ない状況にあり、代わりに、栄養士さんに給食の現場を伝えてもらう「給食説明会」を試行したが、人の集まりは良くなかった。子どもたちがマスクを外して、おしゃべりしながら食べられる環境にな

ることが一番だと痛感する。

### 〔意見・アイデア等〕

- 小田原には、かまぼこや干物をはじめ、とても豊かな食文化があると思う。小田原の市民や子どもたちにその豊かな「食文化」を伝えていくのも食育の重要な仕事だと思う。
- 生涯学習として「食育」では、栄養バランスの問題が一番大きい、食と環境との関係という側面もある。「地産地消」という言葉のとおり、地元にあるものを保存料等使わずに食べた方がおいしいし、地元産業の活性化にもなる。環境への負荷も少なく、消費期限・賞味期限等も正しく理解して、無駄なく食べることにつながってくる。
- 「食と環境」という視点は、食育の問題でよく議論されるところで、そういうことを事業化するとか、市民に取り組みをお願いするとか、学校と連携する等できると良いと思う。
- 大学生が小田原をフィールドに玉ねぎ、みかん等の収穫やその活用まで考える体験型授業を行っている。こうした食を介したワークキャンプで、体を動かすことは心身の健康に繋がり、その体験活動の広がり、地域資源の活用にもなる。それは、結果的に生涯健康にも結びつくかと思う。
- 「子育て広場」での玉ねぎ収穫体験イベントは、参加した子どもと保護者が、単に近所の畑で収穫体験するだけではなく、地元の方から、玉ねぎの種類や取り方、小田原の玉ねぎの美味しさ等を学ぶ場にもなっている。昨年の芋掘り体験も含め、自然との触れ合い、親子の交流にもつながる体験イベントは積極的に取り入れるべきだと思う。
- コロナ禍において、子どもたちが給食で黙食を求められている中、給食時間の校内放送で、栄養士が小田原の梅干しや食材に関するクイズを出題する等、様々な工夫をしていた様子である。
- 以前、地区公民館を会場に「減塩味噌汁」作り方教室が開催されたことがあったように、もっと地域の公民館などを利用して、食文化や健康維持のための献立紹介など、地域に普及する動きに力を入れても良いと思う。

(教育振興基本計画における位置付)

## VII 施策の展開 — 1 社会教育 — (4) スポーツの振興

### ① 生涯スポーツの推進

誰もが身近にスポーツができるよう、地域のスポーツ団体などと連携し、市民が主体となったスポーツ振興を促進します。

(主な取組)

- 市体育協会補助事業
- 柔・剣道錬成事業
- 地域スポーツ活性化事業
- 総合型地域スポーツクラブ推進事業
- スポーツ推進委員活動促進事業

## 【協議内容】 「生涯スポーツ」について

### 〔現況・課題等〕

- スポーツの原点は幼児期からの「遊び」にあると思う。子どもが成長するにしたがって、何等か競技にはまって上を目指すのか、遊びで済んでしまうのかという風に分かれていく。更に上を目指そうとすれば「競技スポーツ」に行くし、年齢を重ねてくると「健康スポーツ」という形で、健康とスポーツをどう結びつけるかという話になるのだと思う。
- スポーツの選択をする場を作るのが、小田原市文化部スポーツ課、あるいは体育協会の各地域団体、振興会等になるが、更にその下にある、子供会の活動、事業以外に地域で子どもたちを遊び集めて何か運動をするという活動が、先々ずっと繋がって、レベルの高いスポーツにもなっていくのかと思う。
- 今、大きな問題として、自治会の加入率、子供会の組織率の低下がある。どうやって子どもたちを集めるか、外遊びの面白さ、楽しさを伝えていくのか、真剣に考える必要がある。
- 中学校では、ボランティア等、自ら進んでできる子に育てようと、その意味を伝え、地域に感謝しながらやっという姿勢で取り組んできたが、コロナ禍では自治会との活動も制約され全くできなかつたので、やっとう今、健民祭のボランティアを紹介され、「地域とともにやっといういかなきゃいけないんだな」ということを実感している状況かと思う。
- 小学校で感じるのは「格差」。特にコロナ禍で、運動をしない子、運動嫌いが増え、それに伴って肥満度も上がっている。転びやすいなど、体力がなくなっているのが、スポーツテストにもはっきり出ている。また、家庭が熱心なところは、クラブチームなどに入っていたり、子ども会に参加したりするが、家庭が忙しくて子どもに目が届かず、子どもがいつの間にか家にこもってしまったたり等、様々な家庭が増えている。コロナ禍でよりその「格差」が顕著になったと感じる。
- コロナ禍で、出会うべき時期にそのスポーツと出会えなかつた子は、とても多いかと思う。体を動かす機会も少なかつたので、子どもの中では外に出て自由に遊ぶということ、まだちょっと警戒しているようにも感じる。
- 学習支援が中心となる「放課後子ども教室」で、令和4年度に保護者から取ったアンケートでは「勉強以外に、体を動かすことをたくさん取り入れてほしい」という声が多かつたのは、やはり、コロナ禍で子どもの運動する機会が少なくなっていると思われる。
- 今、子どもたちの運動量は二極化している。例えば、スポーツクラブに入っている子は、より運動する機会が与えられているが、運動の苦手な子は、どうしても家に閉じこもりがちになって、どんどん運動量の差が広がっていると思う。
- 子ども自身が引きこもりになっている、運動しないという状況は、自明のとおりで、運動をする子どもたちや熱心な親たちは、黙っていてもお金や時間をかけてやるので、小田原市全体では、スポーツや体を動かす子どもの「裾野開拓」を進めていく必要があると思う。
- スポーツクラブで運動に励む子がいる一方で、運動ができない子どもは家の中にずっといる状況を何とかしたいと地域でも考えるが、自治会の役員たちも忙しく、なかなか取り組めていない。コロナ禍で、地域の「みんなで集まって何かやろう」という意識が減退し

てしまったのは大きく、今まで一緒に作ってきたコミュニティが、少しずつ分断されてきているような感じがする。一つにまとまるのが、大変な時代になってきたことを実感する。

### 【意見・アイデア等】

- 現在、スポーツが苦手という大人も、**子どもの頃に少しでも経験したものは再度始めやすい**と思う。「スポーツの原点は、幼児の遊びから」という話のとおり、もっと言うなら、赤ちゃんの時からその入り口があって、より多くの機会や経験を持った上で大人になると、「ちょっとやってみよう」と思った時に、自分の好きと経験が背中を押してくれて、始め易くなるのかと思う。
- 競技スポーツを目指す子どもであっても、観客がいないと更なる向上はありえない。スポーツイベントをすることも大事だが、**それを見に来る人がいることも大切**だと思う。
- 競技スポーツの運営側としては、その場を提供だけでなく、**運営する人間、ボランティアも必要**となってくる。子どもの頃に参加したイベントで「このおじさんたちがいて、遊ばせてくれた」というボランティアへの感謝から、自分たちが成長した時に、今度は自分たちがボランティアになるという連携をどう組織化していくか、既存の各団体が高齢化傾向にある中で、活動できる若者にそれを引き継いでいく、小さいうちから覚えてもらうという循環性が必要となる。
- 健康・運動への関心を高め、**行動を起こして行くには「場」が必要**になる。地域の受け皿としてのイベント等を発信していても、親がそこまで連れていかれず参加率が低かったり、子供会等の組織が弱まったりして、なかなか場がない。既存の学童保育や放課後子ども教室等の場に、生涯スポーツのイベント・取組を持ち込んだり、より子どもが集まりやすい学校など、工夫が必要と思う。
- 最近では、コロナ禍の中、コミュニティがない状況で育児をされている状況がある。だから、「コミュニティに所属する」ことや、「コミュニティに入って何かをする、体を動かす」というのを、小田原市では、「**妊婦さんと赤ちゃん**」という子育ての「入り口」から、当たり前のようにやると、スポーツまでいなくても、健康になるための第一歩を踏み出せるというのは必要かと思う。
- 産後鬱が、コロナの3年間でもすごく増えて、3人に1人が産後鬱になっている状況がある。その対応として例えば、お腹に赤ちゃんがいる時から、出来るスポーツをやってみる。もし、それが、あまり負荷がかからない運動量で、**高齢者の方も一緒に参加**できるならば、そこに異世代間のコミュニティが生まれる。更に、そこで「自分たちの子育ての時は…」という相談相手にもなってくれれば、「コミュニティ」と「体を動かすこと」と「多世代との交流」という、3つの良いことがあるのではないかと思った。
- 体育協会が開催している「ハイハイレース」は、良いきっかけになると思う。興味があつて来た方が、お母さんと体を動かす、先輩のお父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃんたちと、同じコミュニティの中で体を動かす機会があると、より良いかと思う。
- 療育が必要な子たちも**運動を取り入れる**中で、行かなければできない療育がそこである

程度できたりすると、子育てする上の格差が少なくなるのかなと思う。

- 家の中でゲームと動画で過ごしてばかりの小学生に、外で遊ぶよう促しても、なかなか重い腰が上がらない。真夏は特に外が暑いので、子供たちの外遊びも、相当に少ないと思うので、**体育館の無料開放**などがあれば、結構来る子がいるのではないかと思う。
- 「総合地域型スポーツクラブ」によって、小学校の体育の時間や中学校の部活動に関わったり出来るならば、小・中・高校と経ていくうちに、運動する子・しない子が激しく分かれていく中、好きで続けたいという、**ゆるい感じで続けられる地域の受け皿**もできると、子どもの選択肢が少し広がって、より良いかと思った。
- これからスポーツの環境というのは、自分が経験してきたことを軸にするのではなく、**本当に子どもたちを中心にして考えなくてはいけない**ということをととても感じた。
- 子ども教室は、学習以外にも**短い時間でもなるべく体を動かす機会を増やし**、汗をかいてスポーツする楽しさを感じ、最後まで頑張る気持ちを育てていけたら良いと思う。そのためにも、例えば、体育館等を使用など、学校とも連携していく必要がある。
- 運営者という観点で言うと、「**スポット**」だと**みんな手伝うが、「継続」だと嫌がる**。例えば、土曜日や日曜日、家にいる父親を想定した見守りボランティアの募集や、学校開放で「午前中の運営ボランティア」「午後の運営ボランティア」など、スポットで募集すれば、みんな手伝うが、学校開放の「委員」募集となるとみんな嫌がる。多くの人が継続したボランティアは嫌いでも、スポットで様々なことをするのは好きなので、この**単発ボランティアを広げるのが有効**だと思う。
- 高校生や中学生たちも、スポットでボランティアをしたがるので、例えば、平日の夕方や土・日、1ヶ月に1回程度、子供向けに「**お兄さん、お姉さんたちが一緒に遊んでくれるデー**」のような日を設けるのも面白いかと思う。子どもたちが子どもたち同士で遊ぶのがベストであるし、次世代のボランティア育成につながる可能性もある。
- 親が高齢化していると、見守りや鍵の番は大丈夫だが、子どもと遊ぶのは辛いという場合もあり、その意味でも、中学生・高校生が子どもと一緒に遊んでくれる場があれば、多世代交流や異年齢との関係作り等、今回の基本計画にある「**社会力の育成**」にもつながると思う。
- ワンデイボランティアを広げていくような取り組みの中で、**家庭や地域の協力を得て、支援者を増やしていく**ことがとても重要かと思う。
- 「**総合型地域スポーツクラブ推進事業**」は、結構面白く、ある種の多種目・多世代・多志向という形で、裾野を広げていく、作っていくことが大事だと思う。それがなかなか出来ないところは、ある種のスポーツイベントなどで、単発的にボランティアを募集して実施していくのが良いかと思う。
- 一般に体育は「体操」「個人スポーツ」「集団スポーツ」の3つに区分されるが、それぞれに、新しいトレンドが注目され活況を呈している。そのような状況の中、小田原は、**どこに重点をおいて、民間のスポーツ施設などと連携して進めていくのか**ということを考えていった方が良いかと思う。

- これだけ風光明媚な自然があり、歴史がある小田原は、多くの地域資源に恵まれているが、その**地域の資源と関連づけた何かスポーツ振興**みたいなものが出来ると、すごく面白いと思う。
- 高齢世代に関しては、外に出て体を動かす、散歩やラジオ体操をするというだけでも凄く健康に良い訳で、例えば、小田原城でみんなでラジオ体操をする等、形になったスポーツ以外でも、**気軽に体を動かして楽しめるような機会**を、行政としても作ってあげれば、生涯健康であるための学びに貢献できると思う。
- 社会教育法では、社会教育の範囲として、スポーツ、レクリエーションも含むことが書かれている。そういう意味では、キャンプなどレクリエーションは、参加のハードルが低くて、とても楽しめる。家に閉じこもりがちな大人も子どもたちが社会参加できることも大事なので、専門的な指導と関係なく、**より参加しやすいスポーツやレクリエーション**を少しずつやってもいいのかなと思う。
- 生涯健康であるためには、子どもが生まれた時、よちよち歩きの時、そこが行政の関わるスタートであり、親のコミュニティを作ってあげるための工夫にしても、その**最初の導入がしっかりしていれば続いていくのか**と思う。乳幼児健診の機会なども何らかのアイデアがないといけないかと思う。

## 【協議内容】 「部活動の地域移行」について

### 〔現況・課題等〕

- 中学校の現場では「**部活動の在り方**」の見直しが**大きな課題**になっている。教員は、土日も含めてほとんど無償の状態で、超過勤務しながら部活動に携わっているのが現状で、その中で子どもたちと共に部活動の良さを味わいながら、スポーツ部も文化部も取り組んでいる。
- 少子化に伴い、子どもの数と部活動のバランスが悪くなってきているので、合同チームとしたり、地域スポーツに移管したりしながら、教員の負担も減らしていく必要があるかと考えているが、部活動によっては地域にとって必要であったりとか、**部活動の整理は、もっと組織的に取り組んでいかないと難しい**と思う。
- 「**地域の方と共に行ける**」「**顧問が異動しても出来る**」スポーツ部や文化部が生き残っていく部活動だと考えるが、それが成立するか否かは、地域の人とアポをとりながら、または小学校と連携しながら、様々な形で全ての部活動が今、実施している状況だと思う。
- 部活動の地域への移行については、いろいろな取り組みが全国的にも行われているが、すでにクラブチームが今度の中体連の夏の大会に参加するという段階に来ている。**クラブチームの子たちと、中学校が対戦する体制がもう現実にある。**
- 「**お金があるからクラブチームに入れる、お金がない子はそのスポーツをできない**」という状況になりはしないか、そのような「**格差**」を生みはしないか、という懸念について、どうあるべきか小田原市としても考える必要がある。様々な施策、好事例、取り組みをしているのも承知しているが、それは全ての子を対象としているのか、参加できる子からま

ずはじめるというのものもあるかとは思ふ。また、委託事業となるならば学校教育とどう連携するのかという大きな課題もあろうかと思ふ。

- 地域の指導員を雇うなど、人材確保をはじめ物事を進めるには、**予算化の問題は大きい**。委託出来なければ結局、先生の負担は変わらないので、どうしても予算が必要になるのは仕方ないと思ふ。予算と人材が大きな問題であると思ふ。
- 安全に安心して行えるかどうか、万が一、怪我をさせた時、**誰が保障するのか**という点、顧問が責められてしまう。そういう状態の中、今は全て学校教育がやっているのだから、今後そこを担うためには、やはり予算も必要となる。
- 部活動を支える体制づくりについて、今、行政と中体連、それと体協の会長も入って協議している。市内の全中学校が一斉にスタートするのは困難なので、**最低いくつかの中学校でモデル的に動き始めれば**、一つの突破口ができるのではないかという話は出ている。

#### 【意見・アイデア等】

- 部活動を地域指導者に頼むにしても、学校教育としてのスポーツなので、あまり勝ち負けに躍起になるのも如何とも思ふ。**教育的観点からスポーツを導いてくれる人を選ぶのも難しい**という話も耳にした。
- 小学校を卒業して中学に入ってから部活動を選ぶという時に、部活動紹介について連携があると良いと思ふ。うちの近所の中学校では、昔、土曜日の午前中、地域の小学生が部活動の体験が出来る機会があったので、そういう機会が増えて、**小学生・中学生の交流**ができれば、部活動選びの幅も広がると思ふ。
- 今回の大綱、基本計画で、生涯学習的な視点がどんどん取り入れられている。学校だけが「地域と、地域と」と言っている訳ではないので、**地域側もどのように学校に入ってくるのか**という、WIN-WINの関係にならないといけないと思ふ。
- 地域の経験者やグループの人たちに声をかけて部活動の指導に来てもらうためには、**指導方法が一体化しないといけない**。先生が教えることと、地域の指導者が教えることが違ってしまうと意味がなく、整合性を取らないと上手くいかないのは目に見えている。その意味で、ボランティアの育成と指導者の統一した教育、勉強会は必要となると思ふ。
- 様々な子どもの問題も、中学校も大変な状況なので、当然、学校側に任せきりせず、地域は地域で考えてやっているが、**一歩踏み込めないところもある**。しかし、**みんなで話し合いながら何とか進めないと、コミュニティがもっと崩れていく**ので、昔のようにみんなが集まるスポーツや健民祭のようなことをしたいと思ふが、しばらく休止していたので選手を集めるのが大変である。やはりコロナ禍の影響で時間がかかるのは仕方ないかとも思ふ。
- 中学生にとって部活動は、子ども同士の関係づくりにおいても重要であり、大切である。地域に任せることによって一体感を作り出すことができるのか心配である。
- 地域だけに押し付けるような移行ではなく、協力という形でやっているとよいと思ふ。
- 部活動にとって何が重要であるのかによって、担うべき者が明らかになると思ふ。

### 3 自分らしく自立するための学び

(教育振興基本計画における位置付)

VII 施策の展開 — 1 社会教育 — (7) キャリア教育等の充実

#### ① 社会的・職業的自立を目指す教育活動の充実

子どもたち一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促すことを支援します。

(主な取組)

➤ キャリアパスポートの活用

#### 【協議内容】

##### 〔現況・課題等〕

- 「キャリア教育」という授業があるわけではなく、総合的な学習や特別活動の学級会活動等を中心としながら、自己実現や自己肯定を高めるために何をしたらいいのかを考えていく。例えば、職場体験とか仕事現場へ行ってインタビューするとか、その方をお呼びして、講話を聴くとか、それを自分事に捉えて、自分の夢を実現するためにどうしていききたいか。その**職業観や将来の夢を小学校から続けて記録しているのが、このキャリアパスポートである。**
- 「おだわらっ子キャリアパスポート」として作られたのは令和2年だが、こうした記録は前からあった。例えば、学年が上がった時に、自分のなりたい自分になるために、今どんな目標を持っているか、こういう所が課題であるとか、ここを頑張りたいということを書いて、前期が終わる時にまた書くなど、区切りごとの記録により、**自分の成長の足跡を、後で振り返って、軌跡として見られるようにしている。**パスポートは、進級の時はもちろん、中学に進学する場合にも、転校する場合にも、引き継がれることになる。
- 以前からあったキャリア教育の記録について、市が「おだわらっ子のキャリアパスポート」という一定の雛形を提示してくれた。将来の夢を書いた作文を入れる等、その子の軌跡・足跡としてわかるものを積んでいくことが教育活動になる。自分が今どうありたいかを振り返る時間もとっているので、目標立てて、次は頑張ろうという**自分としての成長を作っていく、1つのツールだ**とだけ思えばよい。
- キャリア教育というと、「社会的職業的自立を目指す」と書いてあるので、職業体験のことと思われがちだが、実際には、各教科の学びもキャリアであるし、**日々全ての教育活動がキャリア**となる。
- 小田原では、体験先となる事業所に足を運んで探して、いろいろな人をお願いをしながら受け入れてもらい、その日を迎えられるように子どもに準備をさせ、そして、それを1つの関係として体験して、やりがいを持たせて…という大きなプログラムを全て各学校が担っている。**教育活動としてはとても意義のある活動だが、先生方の負担にもなっている状況はある。**

### 【意見・アイデア等】

- 横浜市では、夏休み中の2、3日かけて、各企業でいろいろな種類の体験、キャリアの機会ができる取り組みを教育委員会が中心になって実施している。種類として50種類程で、参加する子どもが3000人ぐらいと、非常に人気がある。子どもたちをその企業の人たちと繋ぐような役割を果たすことを横浜市で行っている。小田原市にも、商店街や様々な企業、誇れる企業があるので、そこに子ども達が行くということは、地元に関心を持つという機会になるので、**企業と学校教育との連携とか、非常に重要な取り組みになる**と思うが、それを説得するのがとても大変な作業となる。
- 横浜市のプログラムは、すごく良く出来上がっているので、それが本当にキャリア教育につながる段階的な取り組みとして子どもたちにとってメリットになるだけでなく、**企業にとっても、自分たちの活動を紹介する機会になる**。行政でも、ユニークな町づくりをしている部署とか、いろんな仕事を体験させるようなプログラムを準備し、分かりやすく説明するのはとても重要だと思う。
- インターフェースになる団体とか行政と連携する団体とかが、**とても重要な役割を果たしている**。企業とのやり取りをコーディネートしてくれる機関・団体と人と予算があれば成り立っても、その団体だけだと、企業の方は正直、相手にしてくれない。やはり行政がそこに絡むことで、横浜市と、小田原市とつながる等のメリットを感じて、または企業のCSRの機能を果たすという、二つの役割によって、動き出すということがあるので、そういうところで第三者機関を予算配置する、人事配置するということは、非常に重要な役割だと思う。
- キャリア教育については、どうしてもリアルな体験活動が子どもたちの自立性を高めるので、この分野でのメディアの活用は慎重に考える必要があるかと思う。

### ② 多様な学び直しの機会の充実

人生100年時代を迎えるにあたり、より豊かで充実した自分らしい人生を過ごすため、社会に出た後や定年退職後においても、誰もがあらゆる機会に学び続けることができるよう、多様な学びの機会の充実を図ります。

➤ 多様な学び直しの機会の発信

### 【協議内容】

#### 【現況・課題等】

- おだわら市民学校について、いくつか現状の課題があると思う。1つは、非常に**プログラムが多岐に渡り、内容の数も非常に多い**こと。少しスリム化して、集団でできるものと、分かれてグループで活動するもの等、濃淡が必要かと思う。2つ目は、講座のプログラムの作り方が、**講師の承り型が多い**こと。受講生自らが地域の課題に向けて考え、課題解決

したり、提案したりする時間をもう少しコーディネートする工夫が必要かと思う。3つ目は、**学んだ方々が各団体の活動にスライドして行けるようなシステム**を少し工夫する必要が出てきていると思う。職員もコロナ禍で苦勞したことだろうが、また新たに再生する時期に来ているかと思う。

**【意見・アイデア等】**

- おだわら市民学校における課題として、「潜在的な担い手をいかに掘り起こし、実践へとつなげていくか」ということが掲げられているが、「放課後子ども教室」についても、スタッフの高齢化や固定化という課題がある。例えば、市民学校の専門課程「子どもを見守り育てる」という分野の卒業生に、次の担い手として、子ども教室で活動してもらえると大変ありがたい。せつかく**専門的な学びを終了した受講者の方々が、無理なく活動できるような場の提供**を積極的にお願いしたい。

## 4 命を守る学び

(教育振興基本計画における位置付)

VII 施策の展開 — 1 社会教育 — (9) 防災・災害対策の充実

### ① 市民への防災教育の充実

防災講演会において、テーマや対象者を絞り、効率的な防災教育を推進します。

自治会や市内団体等からの依頼に基づき、防災教室を実施し、各団体の立地に応じた各種災害リスクを正確に把握できるよう教育を行います。

(主な取組)

- 防災講演会の実施
- 防災教室の活用周知
- 防災啓発資料の作成・配布

### 【協議内容】

#### 〔現況・課題等〕

- うちの地域では、とてもお年寄りが多く、90歳前後の方もたくさんいる。民生委員たちは、すごく熱心に災害カードなどを作って、今度の防災訓練でも活躍されるのかと思う。現状、そういう民生委員さんが中心にならないと、うまく進んでいけないのではないかという思いがある。やはり、地域での防災は、**小さいお子さんやお年寄りをメインに考えて**いかないと、地域としてうまく進んでいけないのではないかと思う。
- 実は、地域に残っているのは中学生か小学生しかいないことが多い。大人は仕事に行っており、地域に残っているのは高齢者か、小学生か中学生ぐらいしかいない。高校生も行動範囲が広くて日中いないことが多いので、**実際、中学生を頼りにしなくてはいけないか**と思う。
- 中学校と地域との連携は、4年間コロナ禍で遮断しており、社会に貢献する子どもたちを中学校として育てていくところが<sup>ひっそく</sup>逼塞している。では、実際に地域とどういう事ができるか？やはり「**命を守る**」というテーマが、**地域の方々も、子どもたちにとっても、共通項として扱いやすい**だろうと常々思っているが、そういう場をどこまでできるか、その地域の実態に応じて何ができるかを、**地域ごとにそれをシミュレーション**していかないと、本当に何が必要なのかがちょっとわからないのが現状である。
- 中学生は、守られるべき立場から、地域に役立つ立場になっていくと思うが、**小学生は、まだ守られるべき立場**にある。そして、小学校では何をするかということ、知識として教えていく。それを実施しながら、実感を伴っていくようにしていかなければならないと思う。
- 市教育委員会で「**地震だ！そのときどうする？**」という冊子を以前から配布しており、今年度は関東大震災100年ということもあり、9月1日には各校でその紹介をしながら、防災について目を向けさせているかと思う。
- 学校が海に近いこともあり、確実に地域と協力していかなければいけない。学校便りでも

「防災ナビ」のハザードマップに示されている津波の規模や速さなどを紹介した。子供たちにも実感を伴ってもらえるよう話をするが、まだ精神的に弱く怖がってしまう子もいるので、そこは塩梅<sup>あんばい</sup>するなど、子どもの発達段階を考え併せながらカリキュラムに取り入れるような訓練も必要となってくる。学校が津波避難ビルにもなっていて、目の前が海なので、実際に地震が起きた場合に備えて、「地震だ、津波だ、すぐ非難」を合言葉に、何か地震があった場合は、すぐ海から離れる、垂直避難することを日頃から子供たちと確認している。

### 【意見・アイデア等】

- 機会があって聞いた防災講演の中で「普段やってないことは、非常時にも絶対できない」という話があった。また。「使ったことがない物は使えない」「張り切って買った立派な防災道具も押し入れにしまっていたら何の役にも立たない。であれば今使っているバッグに、必要な物で、持ち歩きしやすい便利な物、自分が使い慣れた物を持ち歩いてみませんか？」という事を伝えてくれる講師に会うことができ、腑に落ちた。しかし、自分ひとりだけこれを知っていても我が子は助からない、自分に何かあった時に助けてくれる人、このことに共感してくれる人を増やす必要があると思った。
- 自分で企画した講演会の内容について、自分事として備えをどうすれば良いか共感した参加者が、自身の周辺にも広めたいと同じ講師を呼んで講演やワークショップをするなど、活動の広がりを実感することが出来た。
- 赤ちゃんが生まれて親になった時に、初めて「どうしよう」と思う人は多い。自分だけ、大人だけならどうにか出来ることが、小さい子どもが居るとなると、考えなきゃいけないことが一気に増えて戸惑う方が多い。そういう方のために、子育て支援センターの協力を得て、月に1回、防災の話をお伝えする場を今でも継続して持たせていただいている。
- 昨年度「おだわらまなぼうさい」の講師を務めたNPO法人が、楽しみながら防災が学べるプログラムを実施している。子どもたちのおもちゃ交換会をきっかけに、バケツリレーをやったり、水の的あてゲームをやったりとか、防災訓練の要素や運動会的な内容も取り入れたパッケージを作って、全国、世界各地で開催している。もしこのパッケージが活かされるならば、地区の防災訓練の場や、健民祭と合体したような形でも行うのも面白いと思う。PTAと組むなど学校単位で、子どもたちがボランティアスタッフに入って、お店屋さん等、様々な仕事を絡めながら一日が過ぎれば、防災を学べた、体も動かして楽しかった、ボランティア活動もできた等々いろいろな要素があって、幅広い人が参加する地域のイベントになるのではないかと思う。
- 長年、「防災」という切り口で、いろいろなことを見ていくと、学校で学んでいる事すべてが繋がっていると常々思う。例えば、時速何キロとか、風速とかの計算が出来ると、天気予報で耳にした数字が具体的にイメージ出来て、防災や避難行動の判断の助けになる。普通の授業に一つ防災の要素を入れるだけで、防災教育につながっていく。この学びが、生活に密着している、生きていく上でも大事なことだと上手く伝えられると、その視点も

変わる。教科横断型で楽しく身につけて学べる仕掛けがあると面白いと思う。

- 小田原市は海、山、川等、様々な自然環境があり、住む地域によって、災害の危険性、リスクも異なってくるので、市全体の防災講演より、**単位自治会ごとの防災教育のようなものが出来ると、より具体的な学びが出来て良い**と思う。最終的には、小学生、中学生、小さいお子さんも含めて、みんなが関心をもって気持ちを寄せてくれると、より良いと思う。
- 地域の方との話し合いでお願いしているのは、子どもたちは、学校の中では私たちが一生懸命守るけれど、日頃、登下校の時、休日等は、地域での見守り、ひいては家庭での協力が絶対に必要なので、よろしくお願ひしますということだけである。**地域と連携して何が出来るか**ということを、まちづくり委員会で話題に挙げ、一斉防災訓練の中でやっていきたいと思う。
- 防災を自分事として捉えているかということ、自分はどこかのんびり構えているところがあると思う。いろいろな事に防災を絡めるという話があったが、その少しの意識で、防災の視点を踏まえたものになるので、地道な作業かもしれないが、欠かさずやっていく方が良いと思った。そして、**いかに自分事として捉えるか**ということをも自分自身の戒めも含め意識していきたい。
- 中学校の防災訓練で、各自治会長が自分の地域の中学生と一緒に避難場所やルートを確認しながら家に帰ってくる機会がある。昼間何か起きたら中学生が頼りだという話を自治会からしており、中学生もそれを認識していると思う。また、防災のことを頭の中では理解していても、日常生活との紐づけができてない人は多いと思う。消火器の操作方法を知っている、理屈では言えるが、実際に操作訓練をしていないと、いざというときに出来るかは不確かだと思う。だから、**訓練は飽きるほど重ねてやる方が良い**と思う。
- 防災をいかに自分事とするか、いかに命を守るかということと、それをある意味義務的に実施するためには、やはり学校教育、義務教育が重要な役割を果たしているということが分かった。一方、親が学校に子を迎えに来るとするのは、非常に重要な機会だと思うが、現代的な課題として、母親が必ず迎えに行ける訳ではないということがある。それでも、誰かが迎えに行かなければいけない訳だが、その時に働いている人が多い、ひとり親が多いという今なので、**頼れる近くの人たちとの関係作りがとても大事**だと思う。
- 弱者の視点も必要かと思う。高齢者が非常に多いという話もあったが、体が動かなくなってきた方や、障がいを持っている方、外国籍の方なども増えているので、まずは自分の命を守るという最優先事項以外にも、中学生や高校生には、実際の避難場所では自分より弱い人たちを守ることも大事だということも含めて、**防災というのは助け合い、自助・共助という観点**も少し必要なのかと思った。
- 現代においては「スマホによる情報収集」や「スマホを活用した近隣住民や地域の防災組織との情報共有」ということも重要になるかと思われる。

## 5 みんなで子どもを育む学び

(教育振興基本計画における位置付)

VII 施策の展開 — 2 家庭教育支援 — (1) おだわらっ子の約束の普及と実践

### ① おだわらっ子の約束の普及と実践

子どもの基本的な生活習慣の定着を図り、規範意識や公共の精神を育むため、おだわらっ子の約束の家庭や地域への一層の普及を図り、各園・学校、家庭、地域が一体となって、子どもたちがおだわらっ子の約束を実践する態度を育む取組を進めます。

(主な取組)

- 各校・各園、家庭、地域でのおだわらっ子の約束の普及と実践

(教育振興基本計画における位置付)

VII 施策の展開 — 2 家庭教育支援 — (2) 家庭教育への支援

### ① 家庭教育への支援

家庭教育は、保護者が子どもに行う教育であり、家族のふれ合いを通じて子どもが基本的な生活習慣や生活能力、人への信頼感や思いやり、基本的倫理観、自尊心や自立心、社会的なマナーなどを身につけていく上で重要な役割を果たしていることから、家庭教育学級や家庭教育講演会を開催することにより、家庭教育を支援するための情報を提供するだけでなく、家庭教育における悩みの解決を図ります。

(主な取組)

- 家庭教育学級の開催
- 家庭教育講演会の開催
- 条例制定に向けた事例研究・調査等

(教育振興基本計画における位置付)

VII 施策の展開 — 2 家庭教育支援 — (3) 家庭学習への支援

### ① 家庭学習への支援

家庭において児童生徒が自ら計画を立てて学習に取り組むことは学力向上のために重要であることから、家庭での学習習慣の確立に係る保護者への支援を行います。

(主な取組)

- 家庭での ICT を活用した学習の推進
- 家庭学習の手引き等を通じた学習支援

(教育振興基本計画における位置付)

## VII 施策の展開 — 2 家庭教育支援 — (4) 子育て支援の充実

### ① 子育て家庭の負担軽減

中学校卒業までの児童を養育している家庭に対し、経済的な支援を行うとともに、市立小中学生の保護者等の経済的負担の軽減と教育の機会均等を図ることを目的に、就学援助費のほか、特別支援教育就学奨励費、児童生徒付添交通費補助金、遠距離通学費補助金等の支給による支援を行います。また、経済的理由により高等学校等への就学が困難な市内に住所を有する生徒を対象に、奨学金を支給します。

(主な取組)

- 児童手当支給事業
- 要保護・準要保護児童生徒就学援助費の支給
- 特別支援教育就学奨励費の支給
- 高等学校等奨学金の支給
- 児童生徒付添交通費補助金の支給
- 児童生徒遠距離通学費補助金の支給

### ② 様々な悩みを抱える子どもや家庭の支援

貧困の連鎖を防止するため、生活困窮世帯の子どもに対する学習支援(高校等受験のための進学支援、学校の勉強の復習、学習の習慣づけ、学び直し)等を行います。

また、妊娠期から、乳幼児期、学齢期、青壮年期までの相談が気軽にできることにより、子どもや若者が安心して生活を送れるようになるとともに、心身ともに健やかに育成する支援を行います。

(主な取組)

- 生活困窮者自立支援法に基づく「子どもの学習・生活支援事業」の実施
- 子どもから若者までの相談・支援の充実
- 教育相談、就学相談の実施
- 支援教育相談支援チームによる相談、指導、助言

### ③ 就園前の幼児と保護者の交流の促進

未就園児の保護者同士の交流や情報交換の場を提供します。

(主な取組)

- 子育て支援拠点管理運営事業
- 地域子育てひろば事業

### ④ 児童に適切な遊びと生活の場の提供

共働き世帯の増加や就労形態の多様化に伴い、保護者の仕事と子育ての両立を支援するため、放課後の子どもたちが安全安心に遊びや体験ができるよう、適切な見守りの場を提供します。

(主な取組)

- 放課後児童クラブの運営

## 【協議内容】 「子育て支援の充実」について

### 〔現況・課題等〕

- この20年の中で、**触れる、見つめる、触る**ということが、**すごく少なくなっている**。特にコロナ禍で、切り取り型の子育てになっていて、例えば、沐浴だけの動画、おむつ替えをするだけの動画を見て、その前後の営みが見られていない。泣いた赤ちゃんへの声掛け、抱き方がわからないお母さんもいる。
- 助けを求めることと味方を作ることが、ものすごく減っている**。その理由は、色々な背景を持つお母さんたちがいるが、大きく分けて2つ考えられる。1つは、自分が親からちゃんと愛情を受けておらず、愛し方がわからない、自分がどういう助けを求めているのかわからないというお母さんがいること。もう1つは、育児も、仕事も、家事もパーフェクトな親の背中を見て、自分とのギャップに落ち込み、助けを求めるといことは自分が自立していないこととして感じているお母さんたちが増えていること。助けを求めることができないので、愚痴を吐いたり、自分の味方を作るといことがとても苦手なのかと思う。そのことに対応してやっているのは、まず、触れることとしてタッチケア、助けを求めることについてはママ学校での啓蒙や SNS での発信をしている。味方を作ることといのは、ファミリーサポートセンターが発揮できる大きな仕事の1つである。子育ては親でなくても出来ることを他人に頼ることと私は思っている。
- 2020年にユニセフで発表された「**子どもの幸せ指数**」には、精神的幸福度、身体的幸福度、スキルがあり、先進国38カ国の中で日本は身体的幸福度が1位と高い一方で、精神的幸福度が35位、コミュニケーションに関するスキル27位と低くなってしまう。幸福度で何が大事かといると、大人が幸せであることと自己犠牲が少ないことといわれている。また、養育者が困った時に人に頼れる人数と、子どもの幸せ指数は比例している。
- 子どもにとってパーフェクトな親って、あんまり求めておらず、**親の背中を良いも悪いもすべて見せるのが家庭教育**なのかと考えている。
- 地域子育てひろば事業で関わっている私の地区では、この2年間で参加人数がとて多くなった。その理由の一つ目は、**役員同士協力して仕事を分担して、楽しく活動している**ということ。二つ目は、**活動内容が工夫に富んでいる**こと。三つ目は、**毎回ボランティア2名と民生委員1名のサポート**があり、安心して子どもたちを見てもらえること等が挙げられる。ただ、未就園児が参加対象なので、子どもが対象から外れると必然的にお母さん方も引退となるため、今後は役員の後継者不足が懸念される。
- コロナ禍以前は、子ども教室と児童クラブのスタッフの方と直接話ができる機会があったが、最近はなかなか難しいので、もう少し子どもたちの情報を共有できる機会があると良いと思う。子ども教室においても、年に1回のコーディネーターミーティングがあるが、それぞれの子ども教室での課題とか状況を情報交換する場が無くて、横の繋がりがなかなか持っていないというのが実態かと思う。**現場の様子を届け合う仕組みの再検討**をしていただけると、活動がより充実したものになるのではないかと思う。

- 恐らく、子どもの年齢層、各世代で親の関わり方も大きく変わってきて、親としての知識が必要になっている。助けてほしいとか、頼りたいという事の実現の仕方が難しくなったというのは、個人的に感じている。みんなで何かをするという機会が、この3年で無くなってしまったので、大人もどこまで踏み込んで、みんなで声を上げていいのか、はかりかねていて、それを子どもたちも不安げに感じるようになっていないか、という印象がある。
- 日本の子どもの幸福度が低いというのは、**親たちの子どもとの関係であるとか、どう家庭を作っているか守っているか**というところの、**余裕の無さ**というものが順位に現れているのかと思う。
- 小学校は、家庭での支援が本当に必要**なところ。特に小学校1年生に関しては、家庭の側の支援が必要で、しっかり関わって、同じものを見つめて、見つめ合って笑ったり、褒めたりする活動が一番大事で、そういうところで言語感覚を身につけたり、心を豊かにしたり、愛されているという実感を得る。それが上手くいくと、宿題ではなく家庭学習につながる喜びに変わり、自ら学習に向かうことになると思う。

#### 【意見・アイデア等】

- 今後出来たら良いと思っているのは、お腹に赤ちゃんがいる時からファミリーサポートセンターに登録し、生まれたときに生協などを活用して買物の負担を減らす、産後に家事支援を頼む、ファミサポだけでなく民間事業者にも家事支援の幅を広げる、ハーモニーなど子育ての相談先紹介など、各プレイヤーの方たちが一堂に会して、これから生まれる赤ちゃんのためにお母さんたちのケアができる形をつくること。また、育児休暇を終えた時に、**どういうライフワークバランスが作れるのかを、前もって計画を立てる**。こういった形のイベントを立てながら、**民間、行政、地域が協働した循環型の子育てができる**といいと考えている。
- ファミリーサポートセンターの支援員が本当に少ないので、ファミサポで**楽しく学び直し**が出来ると**地域の人が集い、地域で子育て出来るチャンスにつながる**かと思い、ファミサポ大学の取組みを始めた。
- 高齢化**ということは、**子どもを支援する、子育てを支援する人が増えている**のではないかと考える。その方たちが生きがい、関わる人たちが生きがい就労としてファミリーサポートセンターに登録して、一緒に子育てをしてくれることは理想だと思う。
- 放課後児童クラブの関連事業として、放課後子ども教室に関わっている。放課後子ども教室では、終了後に、児童クラブに参加する児童も見られるので、**放課後児童クラブと、放課後子ども教室との連携**というところで、今後児童クラブのプログラムに、子ども教室の子どもたちが参加できる機会があれば、子ども同士、スタッフ同士の交流の場にもなると考えられるので、お願いしたいと思う。
- 親も一緒に学ぶ**という点が、今、問われているのではないか。そこをどう負担感なく向かって行くかというところが、一番の家庭教育かと多々感じ、親あるいは信頼を置く誰か

が、一緒に同じものを見つめて、共有して、感じられるという時間が取れると、本当はいい。これが小学生低学年までの間に出来ると、その後、少しずつ安定感が増すのかと思う。

## 【協議内容】 「おだわらっ子の約束」の再評価と「(仮称)家庭教育支援条例」について

### 〔現況・課題等〕

- 「おだわらっ子の約束」は、道徳をはじめ様々な場で使っているが、小学生には10項目はやや多い。例えば、橘中学校区の小学校3校では、特に、「3つの『あ』」として、「あいさつ」「安全」「朝ごはん」に特化して家庭に働きかけている。
- 「おだわらっ子の約束」は子どもだけでなく、地域の大人たちも守るものという点の発信が弱いと思っていた。もっと発信の仕方があるのではないかと思う。
- 「おだわらっ子の約束」の「早寝 早起きして 朝ごはんを食べます」ということも、家庭によっては本当に様々で難しいところもあると思う。
- 「条例」と聞くと、とても堅いものという印象がある。「家庭」と一言で言っても、現在は様々な家族の姿があるので、はたして当てはまるのか、という疑問も感じる。家庭教育支援のことは、より具体的な話を様々な計画の中で積み上げていけばよいのではないか。その方が、その時々において臨機応変に、また着実に実効性のあるものになっていくかと思う。

### 〔意見・アイデア等〕

- 「おだわらっ子の約束」の周知について、中三の娘から「おだわらっ子の約束を絵本のように仕立てて、1人に一冊あげてはどうだろう」とのアイデアをもらった。お金がかかってしまうが、絵本だと頭の中に残るイメージも強いのではないかとのアドバイスもくれた。
- 「おだわらっ子の約束」を教育振興基本計画の理念とするならば、もう少し積極的に周知を図り、認知度を上げる必要があると考える。例えば、子どもたちに伝える場合、尊徳学習やおだわらぬり絵等のように、「おだわらっ子の約束」をいわゆる小田原ならではの約束として伝えていくことも大切かと思う。
- 今、「家庭教育支援条例」の必要性を問われても、どのような施策なのか見えてこない。「おだわらっ子の約束」のほうが、絵本にするアイデアなど具体的にイメージできる良さがあると思う。
- 条例ではなく、この「おだわらっ子の約束」について話し合っ、何か面白いツールを小田原の中で作っていくのが、言葉がそのまま家族の中での行動につながって面白いと思う。
- 埼玉県で子どもの留守番を虐待とするような条例案が撤回された事例があったが、実効性の高い、家庭に入り込むような条例を作るのは、難しいとは思う。もし、その条例を作るならば、「おだわらっ子の約束」のような、家族のふれあいを通して、生活習慣や、人との信頼感、思いやり、基本的倫理観というところを小田原の家庭は目指す、というやわ

らかいものなのかと思う。

- 要は、結局「見える化」が必要なのかと思う。例えば、このことで悩んでいる家庭は、ここに相談してくださいというフローチャートのように、今、単体でやっていることを整理したものがないので、もっと市としての方向性を示した方がいいのではないかと思う。  
「おだわらっ子の約束」も、社会教育としてどうとらえて、子どもたちに焦点を当てたとすると、どういうふうに地域社会があるべきか、大人としてどうあるべきかを発信し、そのために足りないことはこう補える等、**様々な取り組みが紐づいている状態が「見える化」できれば良い**と思う。
- 「おだわらっ子の約束」は、**子どもだけではなく、親の責任、地域とでやっていく**ところにしっかり落とし込む必要はある。親世代、大人がしっかりこれを守っていかないと、子どもはつらいというところを、伝えていかなければならない。
- おだわらっ子の約束の「早寝 早起きして 朝ごはんを食べます」を守るのは、働く女性が増えている中で負担に感じる部分だと思う。小田原に**朝食を食べられる子ども食堂**があると、働くお母さんたちの移住増にアプローチできるかもしれない。朝食を一緒に食べながら、生活の中のことを共有できれば楽しくなるかと思う。
- 「おだわらっ子の約束」は、大人も子どもも一緒に守る約束なので、子どもにとっては、**親の様子をみて真似をすればいい**、ということが分かると、すごく楽しくなるような気がする。
- ファミリーサポートセンターでは、様々な事情で困っている方が、本当に増えてきた。ボランティアスタッフでは解決できないことも民生委員に相談すると支援につながるものが良くある。一組織だけではなく、その基本を作る行政と、そのソフトを作る民間と、民生委員等その地域の方たちが、ひとつのテーブルに乗って、**条例ではなく、一つの小さい枠組みのようなものができる**と良いかと思う。
- 子どもの意見を聞くことが大事**。時代を担う子どもたちが“どう思っているのか”というところは、これから本当にどんな場面でも取り上げていかなければならない。家庭教育は子どもを自立させるためのものということであれば、大人側がどうにかしなければならぬ。それを受ける**子どもの声にも耳を傾ける必要がある**。大人が決めたものを“はい、どうぞよろしく”というのは、もう終わったのではないか。

## コロナ禍を経た新しい生活様式を踏まえた考察ポイント

今期のテーマ設定に基づき、5つに分類した「新しい学び」について協議していく前提には、人生100年時代を見据えた生涯にわたる学びがあったが、結果として、各委員からの発言は、家庭のみならず地域や学校における“子ども”を意識したものが多かった。大人たちが、これからの子どものことを考えることは、地域をつなぐ学びへ展開していく可能性は高いものと思う。一方、今期の協議におけるもう一つの前提として、コロナ禍を経た新しい生活様式を踏まえた4つの「考察ポイント」も意識するものとしたが、会議全体の中でこの考察ポイントにまで触れる機会を持つことがあまり出来なかった。そこで、活動報告としてまとめるに当たり、これまでの協議内容を振り返りながら、あらためてこの4つの考察ポイントに触れることとした。

### ① 新しい生活様式のメリット (ICT 等デジタル技術の普及) を活用して何ができるのか

従来からの学びの場で、大きな行動制限を受けることとなったコロナ禍において、この ICT (情報通信技術) 等、デジタル技術が普及したことは大きなメリットと言える。

すでに今期の協議の中で取り上げた行政の取り組みにおいても、オンラインやパブリックビューイングを利用した講座・講演・イベント等の開催をはじめ、繰り返し視聴できる動画配信、ZOOM による個別相談ほか、様々な場面で活用されてきている。

距離的制約、空間的制約にとらわれずにコミュニケーションが可能となったこの ICT 技術は、コロナ禍においても「学びを止めない」ための一助となり、また、学びの場に新たな参加者とのつながりを生む可能性を広げたとも言える。

コロナ禍の制約に囚われなくなった以降も、従来の集会型・対面型で参加しがたい事情を持った人々をつなぐツールとなり得ている。

以下、新しい学びの中での活用案を簡単に挙げてみる。

「1 多様性を認め合う学び」において触れられている、“人との距離感の取り方が難しくなっている”状況を少しずつでも変えるため、または“相手をまず知ることから始める”ためのきっかけづくりとしても、この ICT の活用は有効になってくるかと思う。

「2 生涯健康であるための学び」の生涯スポーツの現況において指摘されている、“運動する機会が少なくなっている”ことについて、スマートフォンに健康増進を目的とする健康管理アプリ (グッピーヘルスケア) をダウンロードして活用したり、現在の技術で作られるバーチャル空間で、ゲームやスポーツで対戦しながら体を動かすことも可能となる。家に引きこもるリスクもあるが、上手く導けば次のステップへのきっかけとして利用できるかと思う。

「3 自分らしく自立するための学び」でのキャリアパスポート等、子どもの学習履歴の可視化は、デジタル技術活用に最適なものと言える。

「4 命を守る学び」では、スマートフォンに災害発生時の情報収集や平時から活用できる行政情報を入手するアプリ (おだわら防災ナビ) をダウンロードすることが、より多くの

命を守るために有効となってくる。

「5 みんなで子どもを育む学び」においても、各自のスマートフォンで利用できる「さくら連絡網」の活用は、子育て世代の保護者にとっては、学校や行政の情報を早く共有できる有効なツールとなり得る。

## ② 逆にそのデメリットであるデジタル・デバイド (情報格差) の解消や、対面コミュニケーション不足等をどう補うのか

①で触れたデジタル技術の普及は、大いに活用する者と、逆にその技術を使いこなせず、学びの場への参画を抑制されてしまう者との「デジタル・デバイド (情報格差)」が生じることにもなった。

行政で開催する「ZOOM 講座」等は、その格差解消の一助となったかもしれないが、実際に講座参加者が非常に多い訳ではなく、現時点でも ZOOM 等オンライン会議システムによる参加を避ける者は、まだまだ多数見受けられる。

また、従来の対面コミュニケーションと異なるオンライン環境での会話や学びは、相互に伝わる情報量やニュアンス等、質的な差異が生ずる。その差異の良し悪しは、当事者が求めるものによるところが大きい。次のような解消案が考えられる。

- ・オンラインにおいても、雑談など、本編とは別にブレイクタイムを効果的に挿入する。
- ・オンライン参加者数を絞って、親しい距離感が感じられるようにする。
- ・専らオンラインではなく、可能な範囲で対面コミュニケーションの機会を設ける。
- ・オンライン PC による参加だけでなく、パブリックビューイングの空間も設ける。

主にデジタル・デバイドの問題や、ICT 活用時のコミュニケーション不足については、以上のような工夫や慣れで徐々に軽減されていく可能性はあるが、そもそもコロナ禍において物理的に制限され、ほぼ空白状態だったとも言える対面コミュニケーション不足を「どう補うか」「どう復活させるか」ということは非常に重要である。ようやく再開されてきた学校の行事や地域のイベント等、集うことで得られる喜びや顔を見て感じる幸せをどのように実現していくかが大切である。コロナ禍により急速に広がったオンライン環境を従来の対面環境に戻していくこと又は両者を棲み分けていくことに当たっては、十分に時間をかけて行う必要がある。

## ③ 学校・地域・家庭等が連携して課題解決する“つながる学び”を実現するにはどうしたらよいか

コロナ禍によって様々な局面で行動制限が加えられたことにより、あらためて人同士がつながることの意味合い、大切さが問われることになったとも言えよう。学校教育においては、コロナ禍を経て ICT の活用が急速に進んだ。このことは、ICT 環境が整ったことに加え、デジタルネイティブ世代の子ども若者に適応力があつたことが大きい。しかし、その一方で多くの子ども若者は大学に入るまで多くの人と接する経験が少ないため、ボランティアや社会貢献に関心があるものの、「人が怖い」ということで躊躇してしまう。今後、人と人と

の関係をつくる練習をどのようにしていくかが課題である。この課題を社会教育において支援することもできるのではないか。他市の例では中学生が自治会の役員に立候補して活動することによって、翌年には中学生、高校生、大学生、未就学児の親やシニア世代が役員に立候補するなどの好影響があり、いろいろな世代を巻き込んだ中で身近で役割を与えて、任せてサポートすることにより、こども若者も地域に溶け込んでいくのではないか。社会教育の視点からすると、個人や社会が抱えた課題が、様々な背景を持つ多様な世代の人たちがつながり、学び合うことによって、新たなアイデアが生まれ、解決に結び付く可能性もあるという好事例である。ファーストステップの人をどうやってつなげるかが大切である。

“つながる学び”を実現するための一つの案として、今期の協議の中で言うと、「4 命を守る学び」は適したテーマと言えよう。学校・地域・家庭、それぞれの置かれた状況を越えて、すべての人が自分事として関われることであり、どんな分野でも、どんな角度からのアプローチでも、すべての学びの先にあるものを「命を守る」という一つの目標に集約することができるので、学習行動の共有感が高い。また、“防災訓練は飽きるほど重ねてやるべき”との意見があったように、この学びとその実践に終わりはなく、学びの継続性が高いものとなるため、自ずと地域コミュニティの維持にもつながる。

ただ、実際には地域の実情に応じた動きが中心になるかと思われ、その際、このつながる学びを、誰がどうコーディネートするのか、そのきっかけづくりが大切かと思う。

なお、「5 みんなで子どもを育む学び」も、言い換えれば「命をつなぐ学び」であり、学校・地域・家庭、みんなが命のバトンリレーに参画するのは、“つながる学び”に結び付きやすいと思われる。

#### **④ 誰一人として取り残すことがない社会を実現するためには、どのような工夫が必要か**

コロナ禍において他者とのつながりを持たず“孤立”してしまったという状況を度々耳にした。その意味では、③の“つながる学び”ともリンクする考察ポイントとなるかと思う。取り残されがちな対象者はどのような人か。それぞれ、レベル感は異なろうが、障がい者、高齢者、家に引きこもっている人、外国籍の人、自治会未加入世帯、コミュニケーションが不得手な人、出不精、無関心な人、…等々が浮かぶ。

解消策としては、①の ICT 等デジタル技術の活用によって、広く情報の共有を図ることが有効かと思われるが、②で触れたとおり、その技術を使えない人が存在することも注視しなくてはいけない。まさに、そこが取り残される一つの要因となる。

すべて様々な場面や事情があるので、それぞれの対応が求められるところだが、これまでの協議の中で、このポイントを意識すべき事例がいくつも挙がっている。

コロナ禍を経て、「仲間と学ぶ」ということが薄れてしまっているのが、従来よりも小さなサークルやグループを作っていくことが大切であり、このことによって社会参加を推進していくことが社会教育において大事であると思う。

「2 生涯健康であるための学び」の生涯スポーツの現況での、運動をする子しない子の「格差」、運動量の「二極化」、スポーツや体を動かす子の「裾野開拓」等に対応する工夫が必要

であるし、同じ「2」の学びでいうと、「妊婦と赤ちゃん」という子育ての入り口において、何等かしっかりと最初の導入を仕掛ければ、“コミュニティがない状況で育児をする”という取り残し状況が防げるかと思われる。

以上のとおり、①から④までの考察ポイントは、それぞれ複層的に関連してくるため、多様な課題を抱えた現代社会における「学びの場」を考えるには、まずは様々なシーンを想定した、より多角的な把握に努めるべきであろう。また、アフターコロナによって、これまで休止していた事業の多くが再開されているが、まだ「学び」をめぐるすべての環境や関係性が従来通りになる訳ではないので、特にコミュニケーションの再構築においてはある程度「リハビリ期間を設ける」という認識を持つことも必要であろう。

## 資料

### 今期小田原市社会教育委員会議協議経過

	日 程	内 容
1	令和4年8月31日(水)	社会教育委員の活動及び今後取り組む研究調査テーマについて協議
2	令和4年11月29日(火)	個別テーマ(案)と協議の進め方について協議
3	令和5年2月27日(火)	個別テーマ「多様性を認め合う学び」及び「生涯健康であるための学び」(食育・健康増進)について協議
4	令和5年6月27日(火)	個別テーマ「生涯健康であるための学び」(スポーツ)について協議
5	令和5年10月19日(木)	個別テーマ「自分らしく自立するための学び」及び「命を守る学び」について協議
6	令和5年12月18日(月)	個別テーマ「みんなで子どもを育む学び」について協議
7	書面会議(令和6年3月)	これまでの協議内容についての振り返り(確認)
8	令和6年6月20日(木)	活動報告書(案)について協議

## 小田原市社会教育委員名簿

任期：令和4年8月1日～令和6年7月31日

役職	氏名	区分	備考
議長	木村 秀昭 きむら ひであき	社会教育関係者	小田原市自治会総連合理事
副議長	笹井 宏益 ささい ひろみ	学識経験者	玉川大学学術研究所特任教授 文部科学省国立教育政策研究所フェロー
委員	有賀 かおる ありが かおる	学校教育関係者	放課後子ども教室学習アドバイザー 豊川地区主任児童委員
〃	井上 久美 いのうえ くみ	社会教育関係者	小田原市 PTA 連絡協議会幹事 (～R5.4)
〃	岩崎 美一 いわさき よしかず	家庭教育の向上に資 する活動を行う者	神奈川県小田原児童相談所所長 (R5.5～R6.3)
〃	小田中 大直 おだなか ひろなお	学校教育関係者	泉中学校校長 (R5.5～R6.3)
〃	加藤 直樹 かとう なおき	学校教育関係者	城南中学校校長 (R6.5～)
〃	加藤 まゆみ かとう まゆみ	学校教育関係者	前羽小学校校長 (R5.5～)
〃	齊藤 ゆか さいとう ゆか	学識経験者	神奈川大学学長補佐 神奈川大学人間科学部教授
〃	高橋 大明 たかはし だimei	学校教育関係者	富水小学校校長 (～R5.3)
〃	高橋 正則 たかはし まさのり	社会教育関係者	公益財団法人小田原市体育協会副会長
〃	中澤 純子 なかざわ じゆんこ	社会教育関係者	小田原市 PTA 連絡協議会幹事 (R5.5～)
〃	中島 正視 なかじま まさし	学校教育関係者	城山中学校校長 (～R5.3)
〃	永森 俊行 ながもり としゆき	社会教育関係者	小田原市青少年健全育成連絡協議会会長 (～R5.4)
〃	松本 利洋 まつもと としひろ	社会教育関係者	小田原市青少年健全育成連絡協議会会計 (R6.5～)
〃	箕輪 真理 みのわ まり	社会教育関係者	おだわら子ども防災 代表
〃	山岸 直子 やまぎし なおこ	家庭教育の向上に資 する活動を行う者	神奈川県小田原児童相談所子ども支援課長 (～R5.4)
〃	山下 真弘 やました まさひろ	家庭教育の向上に資 する活動を行う者	神奈川県小田原児童相談所所長 (R6.5～)
〃	山本 加世 やまもと かよ	家庭教育の向上に資 する活動を行う者	NPO 法人 mama's hug 代表

※委員は五十音順（敬称略）。職名は、在任委員は令和6年6月現在、その他は在任当時のもの。

新しい生活様式を踏まえた  
社会教育・生涯学習のあり方とその可能性について  
— 活動報告書 —  
令和6年6月  
小田原市社会教育委員会議

編集・発行 小田原市文化部生涯学習課  
〒250-8555 神奈川県小田原市荻窪 300 番地  
電話 0465-33-1720

報告第 3 号

事務の臨時代理の報告（社会教育主事の解任について）について

小田原市教育長に対する事務委任等に関する規則（平成10年小田原市教育委員会規則第4号）第3条第1項の規定により、別紙のとおり臨時に代理したので、同条第2項の規定により、これを報告する。

令和 6 年 7 月 3 1 日提出

小田原市教育委員会

教育長 柳 下 正 祐

## 社会教育主事の解任について

氏名	所属	職名	発令年月日
			解任年月日
林 悠作	生涯学習課	主任	令和5年4月1日
			令和6年6月30日

※令和6年7月1日付け人事異動により解任

《参考》

○社会教育法（一部抜粋）

（社会教育主事の職務）

第9条の3 社会教育主事は、社会教育を行う者に専門的技術的な助言と指導を与える。但し、命令及び監督をしてはならない。

（社会教育主事の資格）

第9条の4 次の各号のいずれかに該当する者は、社会教育主事となる資格を有する。

（1）大学に2年以上在学して62単位以上を修得し、又は高等専門学校を卒業し、かつ、次に掲げる期間を通算した期間が3年以上になる者で、次条の規定による社会教育主事の講習を修了したもの

イ 社会教育主事補の職にあった期間

ロ 官公署、学校、社会教育施設又は社会教育関係団体における職で司書、学芸員その他の社会教育主事補の職と同等以上の職として文部科学大臣の指定するものにあつた期間

ハ 官公署、学校、社会教育施設又は社会教育関係団体が実施する社会教育に関係のある事業における業務であつて、社会教育主事として必要な知識又は技能の習得に資するものとして文部科学大臣が指定するものに従事した期間（イ又はロに掲げる期間に該当する期間を除く。）

（2）教育職員の普通免許状を有し、かつ、五年以上文部科学大臣の指定する教育に関する職にあつた者で、次条の規定による社会教育主事の講習を修了したもの

（3）大学に二年以上在学して、六十二単位以上を修得し、かつ、大学において文部科学省令で定める社会教育に関する科目の単位を修得した者で、第一号イからハマまでに掲げる期間を通算した期間が一年以上になるもの

（4）次条の規定による社会教育主事の講習を修了した者（第一号及び第二号に掲げる者を除く。）で、社会教育に関する専門的事項について前三号に掲げる者に相当する教養と経験があると都道府県の教育委員会が認定したもの

議案第17号

小田原市社会教育委員の委嘱について

小田原市社会教育委員の委嘱について、議決を求める。

令和6年7月31日提出

小田原市教育委員会

教育長 柳 下 正 祐

## 小田原市社会教育委員 候補者名簿

任期：令和 6 年 8 月 1 日～令和 8 年 7 月 31 日

選出区分	氏名	職名等	新・再
学校教育関係者	<small>ありが</small> 有賀 かおる	放課後子ども教室学習アドバイザー 豊川地区主任児童委員	再任
	<small>かとう</small> 加藤 <small>なおき</small> 直樹	城南中学校校長	再任
	<small>かとう</small> 加藤 まゆみ	前羽小学校校長	再任
社会教育関係者	<small>いしづか</small> 石塚 <small>かつみ</small> 勝巳	小田原市PTA連絡協議会幹事	新任
	<small>きむら</small> 木村 <small>ひであき</small> 秀昭	小田原市自治会総連合理事	再任
	<small>たかはし</small> 高橋 <small>まさのり</small> 正則	公益財団法人小田原市体育協会副会長	再任
	<small>まつもと</small> 松本 <small>としひろ</small> 利洋	小田原市青少年健全育成連絡協議会会計	再任
	<small>みのわ</small> 箕輪 <small>まり</small> 真理	おだわら子ども防災 代表	再任
家庭教育の向上 に資する活動を行 う者	<small>やました</small> 山下 <small>まさひろ</small> 真弘	神奈川県小田原児童相談所所長	再任
	<small>やまもと</small> 山本 <small>かよ</small> 加世	NPO法人mama's hug 代表	再任
学識経験者	<small>さいとう</small> 齊藤 ゆか	神奈川大学学長補佐 神奈川大学人間科学部教授	再任
	<small>さいい</small> 笹井 <small>ひろみ</small> 宏益	玉川大学学術研究所特任教授 文部科学省国立教育政策研究所フェロー	再任

議案第18号

令和7年度使用教科用図書（小中学校特別支援学級用）の採択について  
令和7年度使用教科用図書（小中学校特別支援学級用）の採択について、議決を  
求める。

令和6年7月31日提出

小田原市教育委員

教育長 柳 下 正 祐

令和7年度 使用教科用図書（小学校・中学校 特別支援学級用）の採択について（案）

No	書籍コード	種目	発行者(略称)コード	書籍番号	書籍名称	希望理由
1	01-1-506	保健 体育	あかね書房01-1	506	からだのえほん1 むしばくんだいすき？	虫歯菌の存在を知り、歯の大切さがわかり、正しく歯を磨こうとする態度が育つため。
2	01-1-522	国語 書写	あかね書房01-1	522	なぞなぞあなあきえほん6 たべもののかくれんぼ	なぞなぞ形式で隠れた食べ物を想像することができ、意欲的に取り組むことが期待できるから。
3	01-1-523	道徳	あかね書房01-1	523	マナーと敬語完全マスター！1 学校のマナーと敬語	学校内での約束やルールを、間違い探しの要領で進めていくことができ、楽しく学ぶことに適している。また、他者についての理解や、集団の決まりへの理解を育むことが期待できるため。
4	01-1-524	道徳	あかね書房01-1	524	マナーと敬語完全マスター！2 家のマナーと敬語	家庭で身につけなくてはいけないマナーについて、絵探して楽しみながら、マナーや敬語を学ぶのに適しているため。
5	01-1-525	道徳	あかね書房01-1	525	マナーと敬語完全マスター！3 町のマナーと敬語	町の中で身につけなくてはいけないマナーについて、絵探して楽しみながら、マナーや敬語を学ぶのに適しているため。
6	01-1-536	国語 書写	あかね書房01-1	536	たのしくおぼえるあいうえおえほん	絵やイラスト、聞き覚えやすい文章を通して、五十音を理解することができるため。
7	01-1-A03	国語 書写	あかね書房01-1	A03	もじのえほんかんじ（1）	ひらがな、カタカナの習熟のあとに段階的に漢字に親しみながら学習できるため。
8	01-1-B02	算数 数学	あかね書房01-1	B02	あかねえほんシリーズかたちのえほん まる・さんかく・しかくさん	基本的な図形が視覚的に示されており、図形の特徴や図形の内容を理解し、作成する学習ができる。また、形の学習もできるため。
9	01-1-F02	道徳	あかね書房01-1	F02	くりのきえんのおともだち2 あしたえんそくだから	学校行事やクラスでの協力活動などを知ることができ、自分の考えを述べたり、相手の立場を考えたりして、学習することができるため。
10	01-1-H02	生活	あかね書房01-1	H02	かばくん・くらしのえほん2 かばくんのおかいもの	主人公がいろいろなお店で買い物をする絵本を読みながら、楽しくいろいろな品物について学ぶことができる。
11	01-1-I06	外国語	あかね書房01-1	I06	あかね書房の学習えほんえいごえほん ぞうさんのピクニック	発音がカタカナ表記されており、読みやすさに配慮されているため。
12	02-1-543	保健 体育	岩崎書店02-1	543	めくってわかる！ひとのからだ	立体的に飛び出す仕組みになっており、体の仕組みについて、具体的に学習することができる。興味を持って、人の体の主な作りや働きを学ぶことができるため。
13	02-1-545	理科	岩崎書店02-1	545	これ1冊で飼育はカンペキ！いきものかいがた図鑑	昆虫、水の生き物、動物、鳥類など生き物の飼い方を詳細に解説されており、本書を介して身の回りの自然に親しむことができる。
14	02-1-A23	図工	岩崎書店02-1	A23	あそびの絵本えかきあそび	まる、さんかくなど簡単に身近なものの描き方が描かれており、形や色、表し方の面白さに気づくことができるから。
15	02-1-E04	算数 数学	岩崎書店02-1	E04	五味太郎のことばとかずの絵本かずの絵本	日常生活の中にある数を物語の流れの中で取り上げて、楽しく学習を進めることができるため。
16	02-1-F12	理科	岩崎書店02-1	F12	絵本図鑑シリーズ1 2のはらのずかんー野の花と虫たちー	身近な生命や自然が絵で描かれており、関心を持つことができるため。
17	02-1-G12	図工	岩崎書店02-1	G12	ひとりのできる手づくりBOXしぜん で工作しよう	身近にある自然のものを使った作品作りについて説明がされていて、身近な材料を使った作品作りができるため。
18	04-1-511	国語 書写	絵本館04-1	511	五味太郎ことばのえほんあいうえおかるた	日常生活でよく使うひらがなや語句、カタカナを読む学習をすることができるため。
19	05-3-501	国語 書写	旺文社05-3	501	とってもやさしい中学国語1・3年改訂版	中学の国語の内容をはじめから丁寧に学習でき、3年間をかけて継続的に使用できるため。
20	05-3-505	算数 数学	旺文社05-3	505	とってもやさしい中1数学三訂版	中学1年の内容の丁寧な解説があるため、自主的な学習に取り組みやすいため。

21	05-3-517	道徳	旺文社05-3	517	学校では教えてくれない大切なこと（11）友だち関係（考え方のちがひ）	コミュニケーションをとるために必要な他者理解が双方の立場で説明されている。
22	05-3-522	道徳	旺文社05-3	522	学校では教えてくれない大切なこと（16）考える力の育て方	具体的な場面を漫画形式で提示してあり、生徒にとって興味をもって課題に取り組めるため。
23	05-3-550	外国語	旺文社05-3	550	小学えいご絵じてん800新装三訂版	イラストを文字ペンでタッチすると、日本語と英語の音声流れるようになっており、興味を持って学習することができる。
24	05-3-551	外国語	旺文社05-3	551	ペンがおしゃべり！ベビー&キッズえいご絵じてん500新装三訂版	絵をタッチするだけで、「音声ペン」がネイティブの発音で単語やフレーズを教えてくれる「音の出る」英和絵辞典で、曲も複数収録されているので、楽しみながら学習できる。
25	05-3-B02	道徳	旺文社05-3	B02	学校では教えてくれない大切なこと（2）友だち関係（自分と仲良く）	自己肯定感が低くなる生徒に対して自分を知るためのヒントが多く紹介されている。
26	05-3-B06	道徳	旺文社05-3	B06	学校では教えてくれない大切なこと（6）友だち関係（気持ちの伝え方）	人との関わり方や自分の気持ちの伝え方を学んでいくことができる。気持ちの伝え方が未熟な児童にとって、具体的な学習内容となっている。
27	05-3-B06	道徳	旺文社05-3	B06	学校では教えてくれない大切なこと（6）友だち関係（気持ちの伝え方）	適切なコミュニケーション方法を学ぶのに適しているため。
28	06-1-535	道徳	偕成社06-1	535	日本の絵本いちばんはじめのマナーえほん	様々な生活場面で必要とされる約束やきまりをイラストと文章で学習すると学びを深められると考えたため。あいさつやマナーを絵本を通して学ぶことができるため。
29	06-1-554	国語 書写	偕成社06-1	554	五味太郎音と文字の本ばばばばば	親しみやすい内容であり、読み聞かせを通して、言語感覚を養うことができるから。
30	06-1-576	国語 書写	偕成社06-1	576	エリック・カールの絵本パパ、お月さまとって！	自然や造形品の美しさに親しみを持ち、身近な材料をもとにした造形遊びに関心をもって学習することができる。
31	06-1-679	外国語	偕成社06-1	679	エリック・カールの絵本エリック・カールのえいごがいっぱい	わかりやすさに配慮されたイラストがカラフルな色使いで描かれていて、本児が興味をもって学習することが期待できるから。
32	06-1-686	理科	偕成社06-1	686	てんじつきさわるえほん音にさわるーはるなつあきふゆをたのしむ「手」	点字以外にもさまざまな凸凹がついているため、春夏秋冬を視覚以外の感覚で感じることができるから。
33	06-1-699	算数 数学	偕成社06-1	699	あっ！とおどろくしかけえほんすうじのかくれんぼ	しかけをめくると色彩豊かな動物や乗り物、虫、食べ物が登場するので、楽しみながら数字を学ぶことができる。
34	06-1-A02	算数 数学	偕成社06-1	A02	エリック・カールかずのほん1, 2, 3どうぶつえんへ	エリック・カールが好きな児童が興味をもって学習することが期待できるから。
35	06-1-L01	算数 数学	偕成社06-1	L01	100かいだてのいえシリーズ100かいだてのいえ	100までの数の数順や数字を楽しみながら学習することで数概念を育むことが期待できる。
36	06-1-O06	国語 書写	偕成社06-1	O06	五味太郎・言葉図鑑（6）くらしのことば	語彙を増やし、生活の中での言語表現力を育むことが期待できるため。
37	06-1-q03	道徳	偕成社06-1	Q03	子どもの生活（3）マナーをきちんとおぼえよう！	生活習慣の基本が大きい絵で描かれているため、基本的なマナーや生活の中での役割、社会生活に必要な決まりの学習をすることができる。
38	06-1-R04	保健 体育	偕成社06-1	R04	あかちゃんのおそびえほん（4）ひとりであそびできるかな	楽しいしかけや操作により、排便の意識や手順を学んでほしいため。
39	06-1-R06	道徳	偕成社06-1	R06	あかちゃんのおそびえほん（6）いいおへんじできるかな	しかけを楽しみながら、返事をする、意思表示をすることを学習してほしい。
40	06-1-T07	保健 体育	偕成社06-1	T07	エリック・カールの絵本できるかな？ーあたまからつまきまでー	エリック・カールが好きな児童が興味をもって学習することが期待でき、動物の動きの模倣をすることで、身体部位操作につながるため。
41	06-1-W12	社会 生活	偕成社06-1	W12	木村裕一・しかけ絵本（12）げんきにごあいさつ	挨拶などを学ぶことができる。1日の中でいろいろな挨拶があることに触れ、学ぶことができる。

42	06-1-x01	家庭	偕成社06-1	X01	坂本廣子のひとりでクッキング（１）朝ごはんつくろう！	興味のある食べ物や料理の基本について学ぶことができるため。
43	06-1-Z01	道徳	偕成社06-1	Z01	子どものマナー図鑑（１）ふだんの生活のマナー	日常生活に必要なマナーについて、豊富なイラストで振り仮名付きで解説されているので、児童にとってわかりやすく学びやすい。
44	06-1-Z01	道徳	偕成社06-1	Z01	子どものマナー図鑑（１）ふだんの生活のマナー	日常生活に必要なマナーについて、豊富なイラストで振り仮名付きで解説されているので、児童にとってわかりやすく学びやすい。
45	06-2-502	理科	学研06-2	502	はっけんずかんどうぶつ改訂版	ページの扉をめくると動物が鳴くという工夫があり、自然の生命についての関心を高めることができるから。
46	06-2-508	理科	学研06-2	508	学研の頭脳開発身近な自然と理科が好きになるかがくのれんしゅうちょう	植物・動物などをイラストで表してあり、子どもが親しみを持ち、全体の姿が理解しやすいようにつくりられている。
47	06-2-528	社会 地図	学研06-2	528	社会科常識シリーズNEW日本列島ジグソー	遊びながら都道府県名や県の形などが覚えられ、日本の地図に興味を広げることができるから。
48	06-2-536	外国語	学研06-2	536	新レインボーはじめての英語図鑑CDつきオールカラー	町や食べ物などのイラストを見ながら、身近なシーン別の英語を知ることができ、CDで発音を確認することも可能なため。
49	06-2-561	国語 書写	学研06-2	561	学研の幼児ワーク6歳ひらがなことば	カラーでマスが大きく、ひらがなの練習の初歩をしっかりと理解できるようになっているため。
50	06-2-637	外国語	学研06-2	637	新レインボーはじめての英語図鑑小学生の英単語カード950	親しみやすく初歩的な英語表現を、図を使って学習することができるため。
51	06-2-780	保健 体育	学研06-2	780	めくって学べるからだのしくみ図鑑	しかけイラストや3Dイラスト、写真で分かりやすく体の中を学ぶことができるため。
52	06-2-783	理科	学研06-2	783	学研の図鑑LIVE天気クイズ図鑑新装版	利用する児童が気象に興味があり、関心をもって学習に取り組むことができる。
53	06-2-791	社会 地図	学研06-2	791	めくってはっけん！せかいちずえほん	親しみやすいイラストで世界の姿や各地に何があるかがわかり、多様な人々のくらしに目を向けようとする態度が育つ。
54	06-2-G07	図工	学研06-2	G07	あそびのおうさまBOOKはじめてぬるほん	自由に遊びながら色塗りに親しみ、色塗りの技能を身につけることができる。身近なもの描いたり、作ったり、飾ったりすることに関心をもつことができる。
55	06-2-n01	理科	学研06-2	N01	ほんとおおきさほんとおおきさ動物園	鮮やかな写真を通して、生物には色や形、大きさなど動物によって違いがあることを学ぶことができるため。
56	06-2-001	美術	学研06-2	001	あそびのおうさまBOOKぬって	興味のあるページから始められ、ぬりえの枠も大きく、自由に描くことができるから。
57	06-2-002	図工	学研06-2	002	あそびのおうさまBOOKはって	鉛筆を持つことがない本児が貼る活動で学習することが期待でき、ページを自由に切って、本に自由に張る作業を通して作品作りができるため。
58	07-2-535	算数 数学	金の星社07-2	535	音のでるとけいえほんいまんじ？	抵抗感なく時計の学習に入れるようにつくられているため。
59	07-2-550	社会 地図	金の星社07-2	550	はじめてのちずえほんたべものちずのえほん	イラストや食べ物を通して、都道府県の名前を楽しく学ぶことができる。興味や関心を引くことに適している。
60	07-2-566	生活	金の星社07-2	566	1ねんせいのせいかつえじてん	小学生になったらできるようにしたいことを、わかりやすく絵で見せる形式なので、楽しみながら学ぶことができる。
61	07-2-592	算数 数学	金の星社07-2	592	アニメおさるのジョージとけいえほんいまんじ？	物語の中の時間に合わせて時計の針を動かすことで遊び感覚で楽しく時計の読み方を覚えられる。
62	07-2-E01	保健 体育	金の星社07-2	E01	やさしいからだのえほん1からだのなかはどうなっているの？	イラストで身体の構造が描かれており、わかりやすく学ぶことができる。自分の健康や運動などを見つめ直して学習することができる。

63	08-1-502	国語 書写	くもん出版08-1	502	もじ・ことば4 やさしいひらがな2集	50音、清音・濁音・半濁音を練習でき、なぞりながら段階的に学習できる構成で、繰り返すことで読み書きの力を定着させることができる。
64	08-1-507	国語 書写	くもん出版08-1	507	もじ・ことば9 はじめてのカタカナ	カタカナへの興味関心を引き、正確なカタカナを書く練習ができるため。
65	08-1-511	社会	くもん出版08-1	511	生活図鑑カードマーク標識カード1集	標識やマークに関心を持つ児童がこの本によって楽しみながら交通マナー、地域の施設などについて学ぶことができるため。
66	08-1-513	社会	くもん出版08-1	513	生活図鑑カードこよみカード	イラストを見て、知っている事物や出来事を指さしたり、経験したことと関連させながら学ぶことができるから。
67	08-1-515	国語 書写	くもん出版08-1	515	書きかたカードカタカナ	カタカナへの興味関心を引き、正確なカタカナを書く練習ができるため。
68	08-1-516	国語 書写	くもん出版08-1	516	書きかたカード漢字	漢字の学習について、ていねいに進めることができるため。
69	08-1-520	国語 書写	くもん出版08-1	520	ひらがなことばカード2集	身近なもののイラストになっていて、教員とのやり取りから認知の発達につながるため。
70	08-1-525	国語 書写	くもん出版08-1	525	ゆびなぞりカードひらがな	イラストが豊富で親しみやすく、カードの文字の部分がくぼんでいるので、指なぞりで指先への刺激も使って平仮名の読み書きを練習することができる。
71	08-1-526	国語 書写	くもん出版08-1	526	反対ことばカード	視覚的に理解を進めながら、反対ことばに興味を持ち、ことばの繋がりを学習するため。
72	08-1-535	社会 生活	くもん出版08-1	535	写真図鑑カード特急・新幹線カード	特急・新幹線について、写真カードが用意されており、興味をもって取り組むことができる。電車や新幹線が好きな児童が意欲的に取り組むことが期待できるから。
73	08-1-536	社会	くもん出版08-1	536	写真図鑑カードはたらく自動車カード	車に興味のある本児が意欲的に学習に取り組むことが期待できるから。
74	08-1-545	理科	くもん出版08-1	545	自然図鑑カード動物カード	動物に対する興味や自然界への関心が広がることができるとともに、動物の名前を覚えることで、言語能力を高め、言葉の発達を促すことができる。
75	08-1-552	図工	くもん出版08-1	552	ファーストステップドリルさいしょのぬってみよう	クレヨンで枠の中を塗ることによって鉛筆をもつことにつなげることができるため。
76	08-1-556	算数 数学	くもん出版08-1	556	かず・けいさん1 はじめてのすうじ	イラスト付きで、主に1から10までの数字について楽しく学習できるため。
77	08-1-565	算数 数学	くもん出版08-1	565	かず・けいさん10 はじめてのとけい	数字の読み書きに合わせて、何時、何時半を繰り返し学ぶことができるため。
78	08-1-576	図工	くもん出版08-1	576	こうさく1 はじめてのはさみ	はさみを持つ練習からスモールステップで学ぶことができるため。
79	08-1-595	国語 書写	くもん出版08-1	595	小学ドリル国語3年生の文章の読解	1文や2文で構成された文章の主語を読み取るところから丁寧に段階を踏んで、読解力をつけることができるため。
80	08-1-641	図工	くもん出版08-1	641	あきびんごの創造性を高めるドリルおえかき博士レベル1	簡単な線や形を書くだけで集中力と形の認識力が上がり、運筆力を身に着けることができる。
81	08-1-667	国語 書写	くもん出版08-1	667	いっきに極める国語(2)小学4~6年の漢字	漢字の意味や形などの特徴ごとにグループ分け、してあり、効果的に覚えることができる。学年に関係なく学習するのに適している。
82	08-1-668	算数 数学	くもん出版08-1	668	いっきに極める算数(2)小学2~4年のかけ算・わり算	九九の練習から2桁でわるわり算まで学年にこだわらず2学年分のかけ算とわり算を忘れることなく効率的な学習ができ、習熟に適しているため。
83	08-1-684	音楽	くもん出版08-1	684	CD付き童謡カード第1集	曲名、歌詞、歌のイメージを表すイラストが掲載されている。カードのイラストから、曲への興味、関心を広げることができる。

84	08-1-686	音楽	くもん出版08-1	686	CD付き童謡カード第3集	親しみやすい童謡が数多く収録されており、意欲的に取り組むことができる。
85	08-1-777	算数 数学	くもん出版08-1	777	いっきに極める算数(1) 小学1~3年のたし算・ひき算	一桁の足し算から、繰り下がりのある引き算の筆算までの計算の仕方を段階的に学ぶことができ、足し引き算の計算力定着を図るのに適している。
86	08-1-799	算数 数学	くもん出版08-1	799	いっきに極める算数(7) 3~6年の文章題	以前よりシリーズで使用しており、児童に意欲をもたせ今後も継続した学習に使用したいため。
87	08-1-819	社会 地図	くもん出版08-1	819	くろくまくんのにほんちずえほんさがして見つけて日本一周!	自分が住んでいる地域について知り、またいろいろな都道府県についても楽しく学べるため。
88	08-1-A03	国語 書写	くもん出版08-1	A03	もじ・ことば3やさしいひらがな1集	書きやすい順にひらがな清音を練習できる。一文字ずつ練習する仕組みになっていて、イラストを見て発音の練習もできる。
89	08-1-A11	国語 書写	くもん出版08-1	A11	もじ・ことば11はじめてのかん字	簡単な漢字を楽しく学習でき、カラーでマスが大きく書きやすいため。
90	08-1-B02	理科 生活	くもん出版08-1	B02	生活図鑑カードくだものやさいカード1集	身近な物の名前を読んだり、聞いたりすることで、発語や語彙を増やす学習ができるため。
91	08-1-c01	国語 書写	くもん出版08-1	C01	書きかたカード「ひらがな」	表面のひらがなをペンでなぞることでひらがなの学習になり、繰り返し書く練習ができるため、児童の発達段階に合っている。
92	08-1-D01	国語 書写	くもん出版08-1	D01	ひらがなカード	カードを教員と見たり読んだりすることで、身近なものに対応させて文字の学習をすることができるため。
93	08-1-D02	算数 国語	くもん出版08-1	D02	とけいカード	時計の読み方を学び、言葉で伝えることができる内容を増やせる。時計の文字盤の基本パターンを覚えながら、楽しく時計の読み方を学べるため。
94	08-1-G03	音楽	くもん出版08-1	G03	CD付き楽器カード	楽器の絵を見ながら、付属のCDでその音色を聞くことができ、興味を持って音楽に慣れ親しむことができるから。
95	08-1-H02	外国語	くもん出版08-1	H02	CD付き英語カードあいさつと話しことば編	30個の挨拶の仕方や言葉をカード形式で学ぶことができるため。
96	10-1-001	理科	講談社10-1	001	米村でんじろうのDVDでわかるおもしろ実験!!	身近なものを使った実験や本とDVDを通して、楽しく理科や科学に興味を持たせることができ、映像から自然の事象や現象に興味もてるため。
97	10-10-503	図工	コクヨ10-10	503	ジャバラワークブック	いろいろな人や生き物のイラストを付属のシールや色紙を使って自分で完成させることができ、状況に応じた表情や服装を考え、表現する学習に適している。
98	10-10-516	図工	コクヨ10-10	516	あーんあーんあーん	大好きなシールを貼る活動で、豊かな色彩を味わってほしい。
99	10-2-513	道徳	好学社10-2	513	あいさつできるよ	礼儀正しくて優しいぞうくんのストーリーに親しみながら、あいさつやルール、マナーについて学ぶことができる。
100	10-3-544	道徳	国土社10-3	544	ルールとマナーを学ぶ子ども生活図鑑(3) 地域・社会生活編	日常生活の中で身に付けたいマナーやルールが書いてある。日常生活を送るためのヒントを楽しいイラスト付きで学習することができる。
101	10-5-C02	家庭	小峰書店10-5	C02	くまたんのはじめてシリーズおいしいおいしい1・2・3	児童の好みにあわせ、自然に数が覚えられるようにしたユニークな絵本で、子供の好きな食べ物が次から次に絵本からとびだしてくるので食べ物にも興味・関心をもつことができる
102	10-8-522	道徳	合同出版10-8	522	イラスト版気持ちの伝え方コミュニケーションに自信がつく44のトレーニング	社会生活に必要な人間関係の対処法やトレーニングをイラストつきで分かりやすく学習することができるため。
103	10-8-534	道徳	合同出版10-8	534	子どもとマスターする49の敬語イラスト版気持ちが伝わる言葉の使い方	自分の周りの人たちとの適切な関わり方や思いやりの心を育むことが期待できるため。
104	10-8-541	保健 体育	合同出版10-8	541	イラスト版発達に遅れがある子どもと学ぶ性のはなし子どもとマスターする性のしくみ・いのちの大切さ	性のしくみ・いのちの大切さをイラストや平易な文章で学ぶことができるから。

105	10-8-560	道徳	合同出版10-8	560	発達協会式ソーシャルスキルがたのしく身につくカード1どっちがカッコイイ？	身近な生活の中での正しいコミュニケーションスキルなどの道徳を学習するため。
106	10-8-561	道徳	合同出版10-8	561	発達協会式ソーシャルスキルがたのしく身につくカード2こんなときどうする？	カードで「こんなときにどうしたらよいのか」がわかりやすく学ぶことができるため。
107	10-8-564	道徳	合同出版10-8	564	絵でわかるこどものせいかつずかん堅牢保存版4おつきあいのきほん	日常生活での基本動作をイラストを通じて学ぶことができ、人との付き合い方を学ぶことにより、今後の生活基盤を養うことができるため。
108	10-9-531	国語 書写	こばと10-9	531	中高生のための国語	日常生活で使われる特別な読み方の漢字や文法だけでなく、コミュニケーションにおいて大切な言葉表現がよくまとめられているため。
109	10-9-532	算数 数学	こばと10-9	532	中高生のための数学	四則計算だけではなく、日常生活に必要な時間、カレンダー、スケジュール、時刻表、お金の支払いなど様々な見方を段階的に学ぶため。
110	10-9-539	道徳	こばと10-9	539	心をのばすソーシャルスキルトレーニング用ワークシート下	コミュニケーション、トラブル対処、感情理解、感情コントロールなどを具体的な事例とともにワークシート形式で学ぶことができる。
111	10-9-601	算数 書写	こばと10-9	601	初級編ステップアップマッチングⅠ	問題数が少なく、児童だけで課題をすすめることができる。付属のシールを使って形や色の区別をする力が身につくため。スモールステップで視覚の発達や指の機能向上を促すことができる。
112	10-9-602	算数 数学 書写	こばと10-9	602	初級編ステップアップマッチングⅡ	大小・前後・上下等の概念やはさみで切る学習を積み重ねたいため。
113	10-9-603	国語 書写	こばと10-9	603	初級編ステップアップことば・もじ	ひらがな練習や2文字や3文字の単語と絵のマッチングができ、ひらがな初期の段階の児童が50音等を学ぶことができるから。
114	10-9-604	算数 数学	こばと10-9	604	初級編ステップアップかず・すうじ	1～10までの数唱と書き練習ができ、段階的に学習できる。イラストが多く数のイメージがしやすく、数の概念を楽しく学ぶことができるため。
115	10-9-605	国語 書写	こばと10-9	605	初級編ステップアップこくごⅠ	文章作りにつながるようなことばの練習が、楽しくすすめられるため。
116	10-9-606	国語 書写	こばと10-9	606	中級編ジャンプアップこくごⅡ	カタカナの読みや反対言葉の学習が適しており、児童が進んで取り組める教材のため。「しりとり」「対になる言葉」「カタカナの読みや書字」などを学べるため。
117	10-9-606	国語 書写	こばと10-9	606	中級編ジャンプアップこくごⅡ	段階的に学習できるため、初級編から次の段階の学習をするのに適しているため。
118	10-9-607	国語 書写	こばと10-9	607	中級編ジャンプアップこくごⅢ	図解入りでわかりやすく「くらべることば」や短い文を読んで答える問題などを、スモールステップで無理なく学ぶことができる。また、会話を書き込みながら学習ができ、より複雑な文の理解を深めることができる。
119	10-9-607	国語 書写	こばと10-9	607	中級編ジャンプアップこくごⅢ	「同じ・違う」「です・ます」「気持ちを表す言葉」等会話を書き込みながら学習でき、スムーズに取り組めるところが生徒に適しているため。
120	10-9-608	算数 数学	こばと10-9	608	初級編ステップアップさんすうⅠ	生活に身近なイラストとともに数を学ぶことができ、簡単な計算の理解を深めることができるため。
121	10-9-609	算数 数学	こばと10-9	609	中級編ジャンプアップさんすうⅡ	初級編を終了した生徒のさらなるステップアップに適している。10以上のたし算引き算について、具体物や図を使って学習を進めるため
122	10-9-609	算数 数学	こばと10-9	609	中級編ジャンプアップさんすうⅡ	挿絵を見て、足し算や引き算の意味を理解しながらより正確に計算することができる。位や単位、筆算のやり方を習得したり、反復して学ぶことで、数量に関する理解の定着ができるため。

123	10-9-610	算数 数学	こぼと10-9	610	中級編ジャンプアップさんすうⅢ	身近なものの図を用いることで、数量の概念の理解につながり、基礎を身につけることができる。掛け算・割り算・分数を視覚的に学べ、文章題と合わせて理解の定着を図ることができるため。
124	10-9-613	算数 数学	こぼと10-9	613	中級編ジャンプアップ集中力・注意力 アップトレーニングシート	図形を模倣して描くなど、作業的な学習を集中して、正しく行うことを学び、集中力や注意力をつけることができる。
125	10-9-614	国語 書写	こぼと10-9	614	上級編レベルアップ漢字	学校や社会生活の中で見かける漢字を、筆順を意識しながら練習することができる。漢字の振り返りをしつつ、字形を整える練習が必要な児童に適している。
126	10-9-615	国語 書写	こぼと10-9	615	上級編レベルアップしぜん	簡単な設問に対して、絵を見て答えることができ、身近な自然や科学について理解を促すことができる。
127	10-9-616	社会 生活	こぼと10-9	616	上級編レベルアップせいかつ	簡単な設問に対して、絵を見て答えることができ、身近な社会の様子や生活の仕方について理解を促すことができる。
128	10-9-618	国語	こぼと10-9	618	上級編レベルアップ対人関係スキル アップトレーニングシート	TPOに応じた相手とのコミュニケーションのやりとりが学べるため。
129	10-9-619	算数 数学	こぼと10-9	619	上級編レベルアップお金と時計の文章 題	シンプルなお金、時計の問題だけでなく、文章題に特化していることで、読みとる力を身につけることができるため。
130	10-9-620	国語 書写	こぼと10-9	620	発達支援教育教材シリーズカード編じ ぶんでつくるえとことばのカード	文字と音を結び付けて、視覚的に覚えることができるため。
131	10-9-B01	算数 数学	こぼと10-9	B01	中級編ジャンプアップとけい・おか ね・カレンダー	時計、お金、カレンダーの読み方をていねいに学習できる。実生活にもつながるように工夫されているため。
132	11-1-D07	理科	さえら11-1	D07	母と子の手づくり教室母と子の園芸教 室野菜をつくろう	身近な野菜を育てながら、植物の育ち方について学ぶことができるため。
133	11-4-508	国語 書写	三省堂11-4	508	こどももののなまえ絵じてん増補新装 版	身の回りの様々なものとその名称を分野別に図解してあり、ことばを理解することができるから。
134	12-2-527	理科	小学館12-2	527	小学館の子ども図鑑プレNEO楽しく 遊ぶ学ぶふしぎの図鑑	イラストや写真を手掛かりに、身近な生き物や自然、体のふしぎなどを学ぶことができるため。
135	12-2-528	理科 保健 体育	小学館12-2	528	小学館の子ども図鑑プレNEO楽しく 遊ぶ学ぶげんきの図鑑	イラストや写真を手掛かりに、身近な生き物や自然、体のふしぎなどを学ぶことができるため。
136	12-2-566	理科	小学館12-2	566	ドラえもん理科おもしろ攻略〔新版〕力と 電気・音・光がわかる	簡単な言葉を用いた物理分野の学習教材として適しているため。
137	12-2-598	外国語	小学館12-2	598	ドラえもん英語図解辞典	イラストを見ながら楽しく学習することができる。生活に必要なものや簡単な会話が絵で説明されており、語彙を増やすことができる。
138	12-2-636	理科	小学館12-2	636	きむらゆういちのパッチン絵本プレゼ ントはなあに？	音に関心がある。音とともに虫や動物に興味をもってほしい。
139	12-2-665	国語 書写	小学館12-2	665	ドラえもんやってみよう！ドラえも んはじめてのひらがな	ひらがなだけではなく、直線、ぬりえ、簡単な工作、シール貼りなどの要素も含まれているため興味を持って段階的に学習をすることができる。
140	12-2-682	道徳	小学館12-2	682	マンガでわかるよのなかのルール	あいさつやお礼を言うことの大切さなど、身近な集団規律や学習規律を漫画形式でわかりやすく学ぶことができるため。
141	12-2-740	外国語	小学館12-2	740	タッチペンで音が聞ける！ドラえもん はじめての英語図鑑	タッチペンでイラストや文字をさわるとネイティブスピーカーの発音を聞くことができ、楽しみながら正しく英語を学ぶのに適している。
142	12-2-811	国語 書写	小学館12-2	811	タッチペンで音が聞ける！ドラえもん はじめての英会話辞典	外国語での会話に興味を持ち始めており、日本語と英語を聞き比べながら関心が深められるため。
143	12-2-824	国語 書写	小学館12-2	824	タッチペンで音が聞ける！はじめてず かん1000はじめてずかん1000 英語つき	言葉の発語を促すために、音声付きの教材が適していると思われるため。

144	12-2-C02	社会 地理	小学館12-2	C02	ドラえもんちずかん2せかいちず	イラストや写真を用いて世界の国々について知識を深めるため。
145	12-2-Z01	算数 数学	小学館12-2	Z01	デコポコえほんかずをかぞえよう！	直接、触った手触りなどで数を認識でき、感覚的に学習できるため。
146	13-2-502	音楽	鈴木出版13-2	502	歌でおぼえる手話ソングブッカーともだちになるためにー	歌を手話で表現し、楽しく活動することができる。友達や教師とともに簡単なリズムを感じ、歌いながら身体表現を学習することができる。
147	13-2-503	音楽	鈴木出版13-2	503	歌でおぼえる手話ソングブック2きみとぼくのラララ	歌を手話で表現し、楽しく活動することができる。友達や教師とともに簡単なリズムを感じ、歌いながら身体表現を学習することができる。
148	14-3-A04	保健 体育	育成会14-3	A04	自立生活ハンドブック4からだ！！げんき！？	身体や健康管理について絵や図を見ながらわかりやすく学習できるため。健康・安全に関する初歩的事項を学習するため
149	14-4-003	社会 地図	成美堂出版14-4	003	いちばんわかりやすい小学生のための学習世界地図帳	最新の衛星写真と詳しい地図によって空から世界を見ることができる地図帳で、楽しみながら世界の国々を知ることができる。
150	14-4-511	国語 書写	成美堂出版14-4	511	はじめてのえんぴつちょう4・5・6歳ひらがなカタカナぜんぶ	ひらがな46文字とカタカナ46文字を同時に学ぶことができるため。
151	14-4-541	音楽	成美堂出版14-4	541	かわいいおとえほんはじめてのピアノ	6種類の音色の鍵盤がついていて、好みの音色で弾いたり、聴いたり、音楽に興味を持たせたり、音の違いを感じたりすることができるため。
152	14-4-541	音楽	成美堂出版14-4	541	かわいいおとえほんはじめてのピアノ	6種類の音色の鍵盤がついていて、好みの音色で楽譜を見ながら弾くことができるため。
153	14-4-548	理科	成美堂出版14-4	548	じぶんでよめるいきものずかん	児童がわかりやすい解説がついており、人間の体の仕組みの学習にもつなげることができる。
154	14-4-556	算数 数学	成美堂出版14-4	556	くださいな！コンビニあそびレジスター	買い物学習を通して、数字に対する興味を高めることができるため。
155	15-3-001	社会	草思社15-3	001	みんなのためのルールブックあたりまえだけど、とても大切なこと	学校や社会で生活していくにあたって必要な礼儀、ルール、などが掲載されており、具体的にイメージしながら学ぶことができるため。
156	15-3-001	道徳	草思社15-3	001	みんなのためのルールブックあたりまえだけど、とても大切なこと	意識しないと気付かないけれど、自分と周りが気持ちよくらしていくために、とても大切なことがあるということに気づくことができる。
157	16-3-544	算数 数学	大日本絵画16-3	544	めくりしかけえほんたのしいかずのえほん	めくりをあげてかずを数えたり、同じ絵を探したり、1～5までの数字を学ぶことができるため。
158	16-3-545	算数 数学	大日本絵画16-3	545	めくりしかけえほんいろんなかたち	四角、六角、丸など、いろいろな形がカラフルな色で紹介されていて、形の認知につながるため。
159	16-3-550	外国語	大日本絵画16-3	550	めくりしかけえほんたのしいa b cのえほん	A～Zまでの読み方や順番について仕掛けをめくりながら楽しく学習ができ、イラストが豊富で興味関心をもって学習することができるため。
160	16-4-A01	国語 書写	太郎次郎社16-4	A01	漢字がたのしくなる本シリーズ漢字がたのしくなる本ワーク1基本漢字あそび	なぞり書きが多く、児童の実態に適した教材のため。漢字の筆順や大きさ、配列について学習することができるため。
161	20-2-507	音楽	ドレミ楽譜20-2	507	子どもに大人気手あそび指あそび改訂版	親しみやすい歌に合わせて手や指で遊ぶことができるから。
162	20-3-515	国語 書写	東京書店20-3	515	ドアをあけたら	穴あきの窓があることで、興味をもって言葉に触れ、学習することができるため。
163	20-3-534	道徳	東京書店20-3	534	わくわく音あそびえほんきらきらマイクでうたおう！たのしいおうたえほん	気持ちを落ち着かせたり、自分の気持ちをマイクを通して伝えたりするのに適しているため。
164	20-4-004	外国語	戸田デザイ20-4	004	A B C えほん	形で単語を覚えたり、アルファベットの形の特徴をイラストなどで学ぶことにより、英単語も形として定着することが見込めるため。

165	20-4-005	社会 地図	戸田デザイ20-4	005	にっぽんちず絵本	各地の名所や特産物が絵で描かれており、食生活や自然、生き物、自分と家庭や社会との関わり等について学習することができ、各地の食べ物に関心を持てるため。
166	20-4-503	国語 書写	戸田デザイ20-4	503	ことばじてん絵本	短い言葉がページごとに文字で描かれており、身の回りの色々な言葉を覚えながら文字を書いたり、読んだりできるため。
167	20-5-506	算数 数学	同成社20-5	506	ゆっくり学ぶ子のためのさんすうドリルB3 ～4けたのたしざんひきざん	3～4桁の数の計算を段階的に学習することができるため。
168	20-5-A01	国語 書写	同成社20-5	A01	ゆっくり学ぶ子のための「こくご」1 (改訂版) (ひらがなのことば・文・ 文章の読み)	簡単な言葉や使い方を正しく読み取る学習ができる。身の回りのものがイラストで描かれイメージしながら学習をすることができる。簡単な言葉や短い文を正しく読み取る学習ができるから。
169	20-5-A02	国語 書写	同成社20-5	A02	ゆっくり学ぶ子のための「こくご」2 (改訂版) (かたかな・かん字の読み 書き)	カタカナ・漢字や文章にふれることのできる構成であり、言葉に対する理解が進み、文字に関心を持ち、読み書きに興味をもつことができるから。
170	20-5-A03	国語 書写	同成社20-5	A03	ゆっくり学ぶ子のための「こくご」3 (改訂版) (文章を読む、作文・詩を 書く)	イラストが多く用いられ、段階的に漢字、詩、文章等の学習へ進む構成になっている。無理なく言葉の理解を深めることができ、学校や家庭での事柄が平易な文で表現され理解しやすいため。
171	20-5-A04	国語 書写	同成社20-5	A04	ゆっくり学ぶ子のための国語4	物語文や説明文の読みを通して、内容を整理しながら情景や場面の様子、登場人物の心情など想像する力を身に付けることができる。
172	20-5-B02	国語 書写	同成社20-5	B02	ゆっくり学ぶ子のための「こくご」入 門編2 (改訂版) (ひらがなの読み書 き)	ゲーム活動的な内容で興味を引きやすく、本児が取り組むことが期待できるから。
173	20-5-C01	算数 数学	同成社20-5	C01	ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」 1 (量概念の基礎、比較、なかま集 め)	絵や文字が大きく、文字を読むことについて段階的に取り組むことができるから。
174	20-5-C02	算数 数学	同成社20-5	C02	ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」 2 (1対1対応、1～5の数、5まで のたし算)	ゲーム活動的な内容で興味を引きやすく、数学の基礎的な概念を段階的に学習することができる。また、書き込むことができるため、計算の練習に活用することができる。
175	20-5-C04	算数 数学	同成社20-5	C04	ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」 4 (くり上がり、くり下がり、2けた の数の計算)	くり上がり、くり下がり、2けたの数の計算を段階的に学習することができるから。
176	20-5-C05	算数 数学	同成社20-5	C05	ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」 5 (3けたの数の計算、かけ算、わり 算)	イラストや図表が多く、わかりやすく2桁の数の四則から3桁へと進め、金銭や計測・文章問題など実生活に役立つ数学の学習を進められるため。
177	20-7-001	社会	東洋館20-7	001	改訂新版くらしに役立つ社会	身近な題材が取り上げられており、生徒の中学校卒業後の社会生活を考える助けとなるため。
178	20-7-002	国語 書写	東洋館20-7	002	改訂新版くらしに役立つ国語	言葉を活用した、「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」のそれぞれの活動について、様々な教材が用意されていて、バランス良く国語の力を育成できる。
179	20-7-003	算数 数学	東洋館20-7	003	改訂新版くらしに役立つ数学	日々の生活に生かせる金銭・長さ・時間・実践課題について学習を進めるため。
180	22-3-A01	国語 書写	日本教育研22-3	A01	ひとりだちするための国語	国語の学習について、段階的に次の学習をするのに適していると考えられるため。
181	22-3-A02	算数 数学	日本教育研22-3	A02	ひとりだちするための算数・数学	日常生活に添った計算や時計や買い物などの学習を行うことができ、実生活に結び付けて学ぶことができ、親しみやすいイラストから学ぶことができるため。
182	27-1-003	社会	ひかりのく27-1	003	マナーやルールがどんどんわかる！新 装改訂版みぢかなマーク	親しみやすいキャラクターとともに、身近なマークを探しに行く構成であるため、社会生活には、様々な決まりがあることを知り、それらを守る学習ができる。

183	27-1-J04	理科生活	ひかりのく27-1	J04	はじめてのずかん4やさいとくだもの	動植物を育てることや日常生活に関係の深い自然の仕組みや働き等に関する初歩的な事柄について学習することができるため。
184	27-1-K09	家庭	ひかりのく27-1	K09	新装版KIDS2112たべものひゃっか	クイズを楽しみながら、食べ物などの身近な食材について学習できるため。
185	27-2-505	国語書写	評論社27-2	505	さわってあそぶコロちゃんののうじょう	家庭で手伝いができるように、触りながら学習することで手伝いに関心を持てるようにするため。
186	27-3-D02	道徳	ひさかた27-3	D02	どうぞのいす	友達へ思いを伝えることが苦手な生徒が優しさという点から自分の思いを伝えられるようになってほしいため。
187	27-4-694	道徳	PHP27-4	694	こころのふしぎたんけんえほん	日常生活の中で感じる心の不思議についてカラーのイラストでとても分かりやすく説明してあるので、親しみやすく、活動に取り組みやすいため。
188	28-1-583	社会	福音館28-1	583	福音館の科学シリーズ絵で見る日本の歴史	昔や未来、日本や世界などがわかりやすい絵を通して、歴史の移り変わりに興味をもって学ぶことが期待できるため。
189	28-1-G05	社会地図	福音館28-1	G05	福音館の科学シリーズぼくらの地図旅行	地図記号を確認しながら、地図の読み方を学ぶことができるため。
190	28-1-g09	美術	福音館28-1	G09	福音館の科学シリーズあそびのレシピ	身近なものを材料にした作品を楽しく作ることができるため。
191	28-3-a02	国語書写	ブロンズ新28-3	A02	らくがきえほんあ・い・う・え・お	ひらがなに親しみが書くことで、簡単な語句を書く学習を積み重ねたいため。
192	28-3-C01	社会	ブロンズ新28-3	C01	しごとば	様々な仕事を楽しいイラストやわかりやすい文章で学ぶことができる。社会科の学習につなげていくことができる。
193	28-8-509	音楽	フレーベル28-8	509	NEWアンパンマンリズムえほん	音楽に合わせて4つの楽器で演奏を楽しめる。ボタンを押すだけで、簡単に演奏できてリズム感を養うことができる。
194	28-8-532	国語書写	フレーベル28-8	532	NEWおしゃべりアンパンマンあいうえおであそぼう！（第2版）	ひらがなを覚えるのに、楽しく学ぶことができるため。発音が難しいため、正しい発音を聞きながら学ぶことができるため。
195	30-2-515	生活	ポプラ30-2	515	これなあに？かたぬきえほん4おきがえいろいろかくれんぼ	いろいろな形に穴の開いたページとなっていて、身に着けるものを合わせたりすることで、着替えの認知につながるため。
196	30-2-539	音楽	ポプラ30-2	539	音のでる知育絵本24脳科学からうまれたゆびゆびえほん	直接、押したり回したりしながら、音楽を楽しく学ぶことができるため。
197	30-2-582	算数数学	ポプラ30-2	582	さわって学ぼう点字の本2さわってたのしむ点字つきえほん2かたち	触りながら、感覚的に学習できるため、図形に関心を持つことができるため。
198	30-2-598	国語算数	ポプラ30-2	598	つんでならべてちえキューブ	物の名前やひらがなが書かれたキューブの動作をしながら視覚的に物の認知を高めることができる。キューブを操作しながら数と言葉や数の大小関係を学んだりすることができるため。
199	32-1-A02	算数数学	民衆社32-1	A02	さんすうだいすきあそぶ・つくる・しらべる2年	数の概念を習得した児童が、次は身近なものの重さや広さを比較する力を学ぶため。
200	51-42-501	道徳	アンサンブ51-42	501	ちくちくとふわふわ	ちくちく言葉とふわふわ言葉の意味をキャラクターを通して学ぶことができるから。
201	51-6-511	国語書写	朝日新聞51-6	511	あいうえおABCタブレット音でる♪知育絵本	音が出るタブレット形式になっているので、見て押して聞いて遊びながら、楽しく平仮名などを学ぶことができる。
202	51-6-512	音楽	朝日新聞51-6	512	てあそびうた&ゆびあそびゲームタブレット音でる♪知育絵本	子どもが大好きな手遊び歌などが30曲内蔵されており、タブレットに触れながら、手と指、体を動かすことで脳を活性化させながら楽しく学ぶことができる。
203	51-6-515	国語書写	朝日新聞51-6	515	あいうえお・おなまえ音かるたゲーム音でる♪知育絵本	学習に抵抗を感じる子どもも、遊びながらひらがなと物の名前を覚えることができる。

204	51-6-522	音楽	朝日新聞51-6	522	光る★音でる♪知育絵本リズムにのってぼんぼんたいこ	今まで触れたことのない音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培うことができるため。
205	55-12-527	音楽	音楽センタ55-12	527	手話でうたうこどものうたベスト	発語が少ない児童が、歌を手話で表現し、楽しむ活動を行うのに適している。
206	56-13-501	国語 書写	かもがわ56-13	501	特別支援教育のカード教材意味からおぼえる漢字イラストカード1年生	漢字とイラストが上下に並べて書かれているので、文字だけでは抵抗がある児童にとっても、安心して学ぶことができる。
207	56-7-528	美術 図工	河出新社56-7	528	大人の塗り絵海のファンタジー編	塗り絵の活動を通して、絵画や制作への興味関心を高めるため。
208	57-22-510	国語 書写	喜楽研57-22	510	ゆっくりていねいに学びたい子のため のことばあそび1	すべての言葉がイラスト付きでイメージしやすく、「言葉遊び」を通して、語彙力をアップさせることができ、クロスワードなどを通して、楽しく学習できるため。
209	57-22-511	国語 書写	喜楽研57-22	511	ゆっくりていねいに学びたい子のため のことばあそび2	文字の並べ替えやクロスワードなどを通して、楽しみながらていねいに文字を書くことを学ぶことができるため。
210	57-22-512	国語 書写	喜楽研57-22	512	ゆっくりていねいに学びたい子のため のことばあそび3	文字の並べ替えやクロスワードなどを通して、楽しみながらていねいに文字を書くことを学ぶことができるため。
211	57-22-515	国語 書写	喜楽研57-22	515	ゆっくりていねいに学びたい子のため のことばワーク	つまずきやすい、促音、長音、拗音、拗長音などの音節を視覚化することで音韻認識を育み、正しい書字につなげることができる。
212	57-22-516	国語 書写	喜楽研57-22	516	ゆっくりていねいに学びたい子のため の作文ワーク初級1	言葉や文章がイラスト付きでイメージしやすく作文が苦手な児童も、スモールステップで文章を書く学習を進めるのに適している。
213	57-22-517	国語 書写	喜楽研57-22	517	ゆっくりていねいに学びたい子のため の作文ワーク初級2	言葉や文章がイラスト付きでイメージしやすく、多様なワークシートで3、4文のスモールステップで文章を書く学習を進めるのに適している。
214	57-22-518	国語 書写	喜楽研57-22	518	ゆっくりていねいに学びたい子のため の漢字ワーク1	問題量に配慮があり、苦手な子も漢字を覚えたり書いたりできるように紙面が工夫されている。
215	57-22-519	国語 書写	喜楽研57-22	519	ゆっくりていねいに学びたい子のため の漢字ワーク2-1	2年生で習う漢字を一文字ごとにイラストが付いていて、意味や読みを確認しながら漢字の書き取りの学習を行うのに適している。
216	57-22-520	国語 書写	喜楽研57-22	520	ゆっくりていねいに学びたい子のため の漢字ワーク2-2	漢字一文字ごとにイラストが付いていて、意味や読みを確認しながら漢字の書き取りの学習を行うことができ、関心を持って取り組めるため。
217	57-22-521	国語 書写	喜楽研57-22	521	ゆっくりていねいに学びたい子のため の読解ワーク1-1	わかりやすい説明イラストがあり、問題量も適切で学習が進めやすいため。
218	57-22-523	国語 書写	喜楽研57-22	523	ゆっくりていねいに学びたい子のため 読解ワーク2-1	短い文章の読み取りや文法などを、スモールステップで学ぶことができるため。
219	57-22-524	国語 書写	喜楽研57-22	524	ゆっくりていねいに学びたい子のため の読解ワーク2-2	イラストや支援が豊富に取り入れられているので、安心して取り組みながら、読解力を身に付けられる。
220	57-22-525	国語 書写	喜楽研57-22	525	ゆっくりていねいに学びたい子のため の読解ワーク3-1	例文と設問などにイラストが豊富に使われており、視覚的にもわかりやすく、安心して取り組むことができ、段階的に丁寧に学習ができるため。
221	57-22-526	国語 書写	喜楽研57-22	526	ゆっくりていねいに学びたい子のため の読解ワーク3-2	例文と設問などにイラストが豊富に使われており、視覚的にもわかりやすく、安心して取り組みながら、読解力を身に付けることができるため。
222	57-22-527	国語 書写	喜楽研57-22	527	ゆっくりていねいに学びたい子のため の読解ワーク4-1	文章、ことばの使い方やきまりについて、細かく練習ができ、定着が図れる。イラスト付きで言葉のイメージがしやすいように工夫されている。
223	57-22-528	国語 書写	喜楽研57-22	528	ゆっくりていねいに学びたい子のため の読解ワーク4-2	イラストや支援が豊富に取り入れられているので、安心して取り組みながら、読解力を身に付けられる。

224	57-22-541	算数 数学	喜楽研57-22	541	ゆっくりていねいに学べるどの子もわかる算数プリント2-1	どの子も計算の仕組みが理解できるよう、お手本や補助記号、ヒントの言葉が掲載されている。
225	57-22-542	算数 数学	喜楽研57-22	542	ゆっくりていねいに学べるどの子もわかる算数プリント2-2	九九や10000までの数や長さなどの内容が中心であり、児童の実態に合っている。多様なワークシートで、考えるためのヒントがあり、計算の理解を深めることができるため。
226	57-22-543	算数 数学	喜楽研57-22	543	ゆっくりていねいに学べるどの子もわかる算数プリント3-1	図が多く用いられており、生徒が苦手に感じやすい割り算を視覚的に理解しながら学ぶことができるため。
227	57-22-544	算数 国語	喜楽研57-22	544	ゆっくりていねいに学べるどの子もわかる算数プリント3-2	数直線やかさの学習など、3年生の学習の基本ポイントを学ぶことができる。イラストなど豊富に取り入れられているため、わかりやすく、読解力を身に付けられる。
228	57-22-545	算数 数学	喜楽研57-22	545	ゆっくりていねいに学べるどの子もわかる算数プリント4-1	割り算や角度、図形などの計算が広く網羅されており、なぞり書きで考えるヒントや説明などがわかりやすく、解き方を覚えることができる。
229	57-22-546	算数 数学	喜楽研57-22	546	ゆっくりていねいに学べるどの子もわかる算数プリント4-2	最初になぞり書きの支援がついているので、安心して取り組みながら、解き方を覚えることができる。視覚的に理解しながら四則演算を学ぶことができるため。
230	57-22-548	算数 数学	喜楽研57-22	548	ゆっくりていねいに学べるどの子もわかる算数プリント5-2	図が多く用いられており、分数を視覚的に理解しながら四則演算を学ぶことや、図形の合同や面積を学ぶことができるため。
231	60-29-528	国語 書写	交通新聞60-29	528	はらぺこあおむしエリック・カールあいうえおマグネット	好きなキャラクターにあいうえおマグネットをマッチングしたり、並べて単語を作ったりすることができ、楽しみながら学習できるため。
232	60-29-542	国語 書写	交通新聞60-29	542	のりものあいうえお	乗り物が好きであるため、文字に興味をもち、ひらがなを書いたりなぞったりできると考えたため。
233	60-32-507	音楽	コスミック60-32	507	いっぴうたおう！どうようえほん	歌のお手本がついているため、音や音楽を聴いて声を出したり、曲を模唱する力を身に付けることが期待できるから。
234	60-3-501	外国語	弘文社60-3	501	小学生の英語シリーズ小学生のよくわかる英語英語であそぼう	簡単な文章と絵が掲載されており、生徒の外国語の理解の助けとなるため。
235	62-12-602	理科	主婦の友62-12	602	しぜんとかがくのはっけん！366	1冊で自然科学の全14ジャンルを網羅している。美しい写真や楽しいイラストが豊富に取り入れられているので自然科学への興味を深めることができる。
236	62-22-522	外国語	新星出版社62-22	522	おとのでるえほん英語のてあそびうた	音楽に合わせて歌ったり手を動かしたりしながら、親しむことができる。世界で親しまれている楽曲に楽しみながら触れることができる。
237	62-49-502	算数 数学	シルバーパー62-49	502	七田式・知力ドリル3・4さいかずをおぼえよう	身近なもののイラストを数えて数字を書いたり、数を数えたりできるようになった児童が、数字と数の理解、数の合成・分解の学習ができるため。
238	62-50-503	国語 書写	実務教育出版62-50	503	なぞらずにうまくなる子どものカタカナ練習帳	楽しいイラストで学べる鉛筆の動かし方、ポイントがはっきりわかるアドバイスなどがあり、楽しんでカタカナの練習をすることができる。
239	62-50-509	国語 書写	実務教育出版62-50	509	なぞらずにうまくなるダジャレ漢字練習帳小学2年生	本児が興味を持っている「ダジャレ」を題材に漢字を学べる構成になっており、楽しみながら学習できる。
240	62-56-502	社会 歴史	JTB62-56	502	るるぶ地図でよくわかる47都道府県の歴史大百科	視覚的にわかりやすい教材として、日本地理と歴史を学習することができるため。
241	62-56-511	国語 書写	JTB62-56	511	るるぶ地図でよくわかる都道府県ワークブック	興味のある都道府県名の教材をなぞることで、ていねいに書く意識が高められるため。
242	62-72-501	家庭	柴田書店62-72	501	料理はすごい！シェフが先生！小学生から使える、子どものためのはじめての料理本	見開き1ページで完結する料理本のため、イラスト付きで調理手順を知ることができ、興味を持って学習することが期待できるから。

243	62-8-538	算数 数学	主婦と生活62-8	538	すみっこぐらしおかねをまなぶっく入学準備～小学1年	お金の模型を使って買い物ごっこをしたり、両替をしたりする設問に答えていくことで、お金の価値や使い方について学ぶのに適している。
244	66-10-514	道徳	高橋書店66-10	514	こころのふしぎなぜ? どうして?	生活の基本となる家族のことや交友関係のことなど、子供が不思議に思う内容が大変わかりやすく説明されている。
245	70-12-505	外国語	東京書籍70-12	505	小学生の英語絵ずかんくしゃべるペン付き>	ペンでタッチして単語や会話を聞き、楽しみながら発音を学べる。聞いたり操作したりすることで外国語の学習に興味を持つことができるため。
246	70-12-505	外国語	東京書籍70-12	505	小学生の英語絵ずかんくしゃべるペン付き>	音声による発音があるため、興味を持って学習することができる。
247	70-34-501	道徳	子供図書館70-34	501	うれしいさんかなしいさん	様々な出来事に対しての感情の変化について、イラストを用いて掲載されているため、物語を通して表現する力をはぐくむことが期待できるから。
248	71-1-521	社会 地図	永岡書店71-1	521	木製知育パズル都道府県パズル	言葉や形を学びながら都道府県を覚えることができ、指先の訓練にも役立つものであるから。
249	71-1-576	社会 地図	永岡書店71-1	576	見て、学んで、力がつく! こども日本地図2024年版	写真やイラストが豊富であり、子どもが興味関心をもって楽しく学べるため。
250	72-13-508	道徳	西村書店72-13	508	どんなきもち?	自分の今の「きもち」を表現できるように、カラフルなおさかなたちが感情を言葉で表現するお手伝いをしてくれるため。
251	72-31-536	道徳	日本図書72-31	536	おやくそくえほんはじめての「よのなかルールブック」	約束に関する具体例がイラストによって描かれていることで分かりやすく、チェックリストをつけながら学習していくことができるため。
252	72-7-506	国語 書写	日本文芸社72-7	506	どんな字でもすぐにきれいな字になる! まほうのひらがなれんしゅうちょう	字を書くためにイラストを豊富に使って楽しく解説されており、すすんで学習に取り組むことができる。
253	76-16-517	理科	パイインタ76-16	517	はじめてのからだえほん	人体の構造について視覚的にとらえられ、学習意欲の向上が期待できる。
254	76-16-550	社会	パイインタ76-16	550	はじめての日本のれきしえほん	豊富なイラストや短い説明文を手掛かりに、日本の歴史の大まかな流れを理解することができるため。文にはルビがふってあるため。
255	76-16-555	社会	パイインタ76-16	555	らくがきだいすききせつときょうじ	各季節の行事・花・生き物・旬の食べ物などを自由に描くことで楽しみながら四季に触れることができる。
256	77-13-529	道徳	B L 出版77-13	529	手と手をつないで	美しい絵と温かな言葉により、優しい気持ちを育んでいくのに適している。
257	79-6-569	社会	ベネッセ79-6	569	たまひよごっこあそび絵本スーパーのりものえほん	遊びを通して社会を支える乗り物について知識を身に着けることができるため。
258	79-6-571	音楽	ベネッセ79-6	571	たまひよ楽器あそび絵本すてきなピアノえほんDX	ピアノ、鉄琴などの音を鳴らす体験ができ、音や音楽に関心を向けることが期待できるから。
259	79-6-579	音楽	ベネッセ79-6	579	しまじろうの歌えほんしまじろうどうようえほん	親しみのあるキャラクターが描かれており、歌詞と遊び方や手遊びなどを通して、音楽に親しみ、リズム感などを養うことができるため。
260	80-12-503	保健 体育	保育社80-12	503	からだ・あいうえお	おもしろいイラストで体のことや病気のこと、検査や治療のこと、病院のことを知りながら、50音を覚えていくことができるため。
261	80-6-572	算数 数学	ほるぶ80-6	572	単位がわかるメートルのえほん	身近にある物と比較しながら、長さや高さを学習することができる、生徒の理解の助けとなるため。
262	82-15-502	算数 数学	三輪書店82-15	502	コグトレドリルやさしいコグトレ数える2	短期記憶を鍛えることができるワークが掲載されているため。
263	90-11-501	国語 書写	リヴォルヴ90-11	501	もじのかたちをとらえるためのひらがなれんしゅうちょう改訂版	形の特徴を言葉とイラストで分かりやすく学ぶことができるため。
264	90-13-506	道徳	リベラル社90-13	506	つよくやさしい心を育てるおしえておじぞうさま	親しみやすい絵で、子供の疑問にお地蔵さまがやさしく教えてくれ、「友情」「鍛錬」「自立」の心を育てるのに適している。

265	C01121	国語 書写	東書002	C-121	こくご ☆	イラストが中心となっており、物の名前を覚えたり、模倣遊びやごっこ遊びを通して、日常生活の動作を学ぶことができる。
266	C01122	国語 書写	東書002	C-122	こくご ☆☆	生活における絵や物語を中心に構成されたり、段階的に文字や言葉の学習ができる。
267	C01123	国語 書写	東書002	C-123	こくご ☆☆☆	ひらがな、カタカナ、ローマ字が段階的に配列されて、言葉のリズムや表現の楽しさに親しませながら学習できるようになっている。
268	C05122	算数 数学	教出017	C-122	さんすう ☆☆ (1)	絵を用いて、仲間集めから数を数える活動や順序、比較などを系統的に学ぶことができる。
269	C05123	算数 数学	教出017	C-123	さんすう ☆☆ (2)	具体物を少しずつ数字に置き換えたりして、段階的に数の概念や数学的な考え方が理解できる。
270	C05124	算数 数学	教出017	C-124	さんすう ☆☆☆	紙面での操作活動を通したり、学校生活での体験を通して、概念理科を深めることができる。
271	C01721	国語 書写	東書2	C-721	国語 ☆☆☆☆	効果的に横書きの文章が掲示され、生活に必要なコミュニケーションスキルを高められるような学習を楽しみながら取り組むことができる。
272	C07722	数学	教出17	C-722	数学 ☆☆☆☆☆	数学的な表現を用いて、道筋を立てて課題解決に向かう内容となっており、日常生活に活かすことができる構成になっている。

※文科省著作教科書（いわゆる星本）については、一覧に記載のないものもすべて採択希望とします。

議案第19号

令和7年度使用中学校教科用図書（国語・書写・社会（地理的分野・歴史的分野・公民的分野）・地図・数学・理科）の採択について

令和7年度使用中学校教科用図書（国語・書写・社会（地理的分野・歴史的分野・公民的分野）・地図・数学・理科）の採択について、議決を求める。

令和6年7月31日提出

小田原市教育委員会

教育長 柳 下 正 祐

## 令和7年度使用小田原市中学校教科用図書発行者候補一覧

《7月31日》

教科	種目	出版社	前回
国語	国語	東書・三省堂・教出・光村	光村
	書写	東書・三省堂・教出・光村	光村
社会	地理	東書・教出・帝国・日文	帝国
	歴史	東書・教出・帝国・山川・日文・自由社・育鵬社・学び舎・令書	帝国
	公民	東書・教出・帝国・日文・自由社・育鵬社	帝国
	地図	東書・帝国	帝国
数学科	数学科	東書・大日本・学図・教出・啓林館・数研・日文	学図
理科	理科	東書・大日本・学図・教出・啓林館	大日本